

平成20年度（2008年度）

# 事業報告書

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

平成21年5月28日

学校法人 帝塚山学院

# 1 法人の概要

## I 設置する学校・学部・学科等

- ①帝塚山学院大学 (学長:酒井信雄)
- |     |              |               |
|-----|--------------|---------------|
| 大学院 | 人間科学研究科      | 人間科学専攻        |
|     | 人間科学研究科(専門職) | 臨床心理学専攻       |
| 学部  | 文学部          | 現代コミュニケーション学科 |
|     | 人間文化学部       | 文化学科          |
|     |              | 人間学科          |
|     |              | 食物栄養学科        |
- ②帝塚山学院高等学校 (校長:山本 三郎)
- ③帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 (校長:三村 浩一)
- ④帝塚山学院中学校 (校長:山本 三郎)
- ⑤帝塚山学院泉ヶ丘中学校 (校長:三村 浩一)
- ⑥帝塚山学院小学校 (校長:文田 雅夫)
- ⑦帝塚山学院幼稚園 (園長:吉村 智子)



### Ⅲ 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要

平成20年5月1日現在

	学部・学科名等	定員		現員						合計
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
大学院	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	1	1					2
	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	15	22					37
	<b>大学院計</b>	<b>30</b>	<b>60</b>	<b>16</b>	<b>23</b>					<b>39</b>
大学	文学部									
	現代コミュニケーション学科	230	460	125	142					267
	国際文化学科(H19年度募集停止)		380			10	23			33
	コミュニケーション学科		460			71	88			159
	(H19年度現代コミュニケーション学科へ名称変更)									
	<b>文学部計</b>	<b>230</b>	<b>1,300</b>	<b>125</b>	<b>142</b>	<b>81</b>	<b>111</b>			<b>459</b>
	人間文化学部									
	文化学科	150	630	127	131	166	165			589
	( " 3年次編入学定員)	15								
	人間学科	150	630	183	151	168	194			696
	( " 3年次編入学定員)	15								
	食物栄養学科	80	240	97	95	89				281
	<b>人間文化学部計</b>	<b>410</b>	<b>1,500</b>	<b>407</b>	<b>377</b>	<b>423</b>	<b>359</b>			<b>1,566</b>
<b>大学学部計</b>	<b>640</b>	<b>2,800</b>	<b>532</b>	<b>519</b>	<b>504</b>	<b>470</b>			<b>2,025</b>	
高等学校以下	帝塚山学院高等学校	240	720	222	203	193				618
	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	247	270	250				767
	帝塚山学院中学校	200	600	220	199	153				572
	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	141	160	154				455
	帝塚山学院小学校	120	720	120	126	122	126	126	125	745
				(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)				
	帝塚山学院幼稚園	総定員	160	48	55	56				159
	<b>高等学校以下計</b>	<b>1,000</b>	<b>3,520</b>	<b>998</b>	<b>1,013</b>	<b>928</b>	<b>126</b>	<b>126</b>	<b>125</b>	<b>3,316</b>
<b>合計</b>	<b>1,670</b>	<b>6,380</b>	<b>1,546</b>	<b>1,555</b>	<b>1,432</b>	<b>596</b>	<b>126</b>	<b>125</b>	<b>5,380</b>	

(参考)平成21年5月1日現在

	学部・学科名等	定員		現員						合計
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
大学院	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	2	1					3
	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	21	15					36
	<b>大学院計</b>	<b>30</b>	<b>60</b>	<b>23</b>	<b>16</b>					<b>39</b>
大学	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	200	200	177						177
	<b>リベラルアーツ学部計</b>	<b>200</b>	<b>200</b>	<b>177</b>						<b>177</b>
	文学部									
	現代コミュニケーション学科(H21年度募集停止)		460		109	137				246
	国際文化学科(H19年度募集停止)		150				14			14
	コミュニケーション学科 (H19年度現代コミュニケーション学科へ名称変更)		230				78			78
	<b>文学部計</b>	<b>0</b>	<b>840</b>	<b>0</b>	<b>109</b>	<b>137</b>	<b>92</b>			<b>338</b>
	人間科学部									
	情報メディア学科	90	90	108						108
	心理学科	150	150	180						180
	食物栄養学科	80	80	88						88
	<b>人間科学部計</b>	<b>320</b>	<b>320</b>	<b>376</b>						<b>376</b>
	人間文化学部(H21年度人間科学部へ名称変更)									
	文化学科 ( " 3年次編入学定員)	15	480		119	132	181			432
	人間学科 ( " 3年次編入学定員)	15	480		173	152	177			502
	食物栄養学科		240		95	91	88			274
	<b>人間文化学部計</b>	<b>30</b>	<b>1,200</b>	<b>0</b>	<b>387</b>	<b>375</b>	<b>446</b>			<b>1,208</b>
	<b>大学学部計</b>	<b>550</b>	<b>2,560</b>	<b>553</b>	<b>496</b>	<b>512</b>	<b>538</b>			<b>2,099</b>
	高等学校 以下	帝塚山学院高等学校	240	720	237	213	200			
帝塚山学院泉ヶ丘高等学校		280	840	242	243	267				752
帝塚山学院中学校		200	600	214	215	198				627
帝塚山学院泉ヶ丘中学校		160	480	144	141	157				442
帝塚山学院小学校		120	720	114	120	126	125	126	124	735
				(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)				
帝塚山学院幼稚園		総定員	160	48	53	55				156
<b>高等学校以下計</b>		<b>1,000</b>	<b>3,520</b>	<b>999</b>	<b>985</b>	<b>1,003</b>	<b>125</b>	<b>126</b>	<b>124</b>	<b>3,362</b>
<b>合計</b>	<b>1,580</b>	<b>6,140</b>	<b>1,575</b>	<b>1,497</b>	<b>1,515</b>	<b>663</b>	<b>126</b>	<b>124</b>	<b>5,500</b>	

## IV 役員・教職員の概要(平成20年5月1日現在)

### ①理事会(平成20年度内異動を含む)

■理事 定員:12人以上25人以内 現員:21人 うち外部理事(※):9人

理事長	石川 啓	
学院長	児玉 隆夫	
常務理	八木 孝昌	
事業理	馬場 雄三	
理事	阿部 喜兵衛	※
理事	岩崎 裕保	
理事	近衛 彰	※
理事	酒井 信雄	
理事	田附 正夫	※
理事	土肥 孝治	※
理事	豊島 久真男	※
理事	中島 治一郎	※
理事	野村 明雄	※
理事	文田 雅夫	
理事	溝手 真理	
理事	三村 浩一	
理事	山本 三郎	
理事	山本 正樹	
理事	吉村 智子	
理事	渡辺 滉	※
理事	亘 信二	※

■監事 定員:2人又は3人 現員:2人

監事	浦野 二郎	11/26付退任
監事	三木 二良	
監事	山根 敬介	10/24付就任

■理事会、理事会常務委員会の開催回数

平成20年度

理事会:4回

理事会常務委員会:42回

■理事会、理事会常務委員会の議事内容

別表1参照。

②評議員会(平成20年5月1日現在)

■評議員 定員:30人以上52人以内 現員:31人

第1号評議員 :10人 (10人以上15人以内)(法人職員)

阿閉 直人、岩崎 裕保、柏田 雅明、木山 哲夫、島田 好人、  
原 祥隆、溝手 真理、村上 重雄、山本 正樹、脇田 忠昭

第2号評議員 :4人 (4人以上6人以内)(同窓会員)

秋田 悦子、馬場 雄三、山田 昌子、山根 敬介

第3号評議員 :1人 (1人)(理事長)

石川 啓

第4号評議員 :1人 (1人)(学院長)

児玉 隆夫

第5号評議員 :2人 (1人以上3人以内)(理事)

酒井 信雄、八木 孝昌

第6号評議員 :13人 (13以上26人以内)(学識経験者)

秋岡 省三、有田 太郎、池永 純造、植田 宏、太田 道明、  
大屋 登史子、清遠 豊、五味 義文、佐々木 博夫、竹内 正明、  
鶴崎 裕雄、古川 繁浩、宗像 正幸

■評議員会の開催回数

平成20年度

評議員会:3回

③教職員数

平成20年5月1日現在

	教員					職員			
	専任	常勤	特任	非常勤	計	専任	嘱託	計	
法人本部						6		6	
帝塚山学院大学	文学部	30			74	104	13	3	16
	人間文化学部	39		7	131	177	18	12	30
	大学院	2		2		4			0
帝塚山学院高等学校	35	2		36	73	4	3	7	
帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	41	11		22	74	4	6	10	
帝塚山学院中学校	22	6		17	45	1		1	
帝塚山学院泉ヶ丘中学校	15	4		11	30	2	1	3	
帝塚山学院小学校	24	6		4	34	1		1	
帝塚山学院幼稚園	7	2			9		1	1	
合計	215	31	9	295	550	49	26	75	

別表1 ①理事会の審議事項

開催年月日	監事の出席	審議事項
平成20年5月29日	有	第1号議案:理事会議事録署名人選任の件
		第2号議案:平成19年度決算(案)の件
		第3号議案:寄附行為変更の件 (1)文学部日本文学科廃止の件 (2)大学文学部現代コミュニケーション学科募集停止ならびにリベラルアーツ学部の届出設置の件 (3)大学人間文化学部文化学科、人間学科募集停止ならびに情報メディア学科、心理学科の届出設置の件
		第4号議案:大学人間文化学部名称変更予定の件
		第5号議案:大学名誉教授称号授与の件
		第6号議案:管理職手当、役職手当改定の件
		第7号議案:大学学部長の役職手当を管理職手当に改定する件
		第8号議案:大学狭山キャンパス B棟・C棟・D棟耐震補強工事施工業者決定の件
		第9号議案:理事会における特段の意見の取り扱いに関する申し合わせの件
		平成20年7月10日
平成20年10月23日	有	第1号議案:平成20年度補正予算(案)の件
		第2号議案:幼稚園園則改定の件
		第3号議案:監事任期満了退任に伴う選任の件
		第4号議案:評議員選任の件
		第5号議案:学費改定の件
平成21年3月25日	有	第1号議案:平成21年度事業計画及び予算(案)の件
		第2号議案:学院創立100周年記念事業特定引当資産組入れについて
		第3号議案:平成20年度泉ヶ丘中学校高等学校学則一部変更について
		第4号議案:各設置学校の学則一部変更の件
		第5号議案:寄附行為変更の件
		第6号議案:大学学長、副学長の任命の件
		第7号議案:大学学部長の任命の件
		第8号議案:理事の選任の件
		第9号議案:評議員の退任および選任の件
		第10号議案:「学校法人帝塚山学院 顧問規程」の改定について
		第11号議案:「学校法人帝塚山学院 資金運用規程」の制定について

別表1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
第812回	平成20年4月10日	組合関係
		中・高等学校増担手当に関する規程について
		教員免許更新制について
		中・高等学校と泉ヶ丘中・高等学校との教員人事交流について
第813回	平成20年4月17日	組合関係 時間管理小委員会について
第814回	平成20年4月24日	平成20年度教育後援会幹事ならびに日程について
第815回	平成20年5月8日	組合関係
		理事会・評議員会議案について
		管理職手当、役職手当に関する規定改定について
		平成20年度学院各種委員会について
第816回	平成20年5月15日	組合関係
		大学名誉教授称号授与の件
		管理職手当、役職手当に関する規定改定について
		理事会における特段の意見の取り扱いについて
		平成19年度決算(案)について
5月29日開催の理事会評議員会議案について		
第817回	平成20年5月22日	平成19年度事業報告書(案)について
		大学狭山キャンパス学舎B棟、C棟、D棟 耐震補強工事に関する中間報告について
		帝塚山学院報の発行ならびにホームページ(学院本部サイト)の文案について
		組合関係
第818回	平成20年5月29日	大学狭山キャンパス学舎B棟、C棟、D棟耐震補強工事の施工業者内定について
		安全衛生管理規程の改定について
		ホームページ学院本部サイトの原稿について
第819回	平成20年6月5日	組合関係
		安全衛生管理規程(案)について
第820回	平成20年6月12日	「定員割れ改善計画書」の申請について
		理事会開催について
		組合関係
第821回	平成20年6月19日	組合関係
		大学特任教授の個人研究費に関する取扱いについての申し合わせ
		内部進学の入学検定料、入学金について
第822回	平成20年6月26日	組合関係
第823回	平成20年7月3日	7月10日開催理事会の議案資料について
		組合関係
		大学「人間文化学部」を「人間科学部」へ名称変更を届出する件について
第824回	平成20年7月10日	文部科学省からの寄付金に関するアンケートの依頼について
		大学「定員割れ改善支援計画書」申請の件
		給与裁判について
		大阪南労働基準監督署への是正報告について
第825回	平成20年7月17日	組合関係
		大学新学部・学部長予定者の内定について
		ケーブルテレビ(J-COM)からの番組制作協力依頼について
第826回	平成20年7月24日	幼稚園園側の一部変更について
第827回	平成20年7月31日	専任教職員採用に関する手続規程(案)について
第828回	平成20年8月28日	専任教職員採用に関する手続規程(案)について

回数	開催年月日	議事内容
第829回	平成20年9月4日	大学教員の就任承諾書について
		専任職員採用に関する手続規程(案)について 組合関係
第830回	平成20年9月11日	専任職員採用に関する手続規程(案)について
		平成20年度補正予算の編成方針について
		10月開催の理事会・評議員会の日程について 組合関係
第831回	平成20年9月18日	専任職員採用について 組合関係
第832回	平成20年9月25日	本学院に対する給与上の損害賠償請求の訴訟に関する教職員への配布文書について (平成18年(ワ)第1870号損害賠償請求事件)
		大学教育開発支援センター規程(案)について 組合関係
第833回	平成20年10月2日	大学教育開発・支援センター規程(案)について
		教育後援会主催教育講演会開催について 学院創立100周年記念事業準備委員会の構成について
第834回	平成20年10月9日	大学教育開発・支援センター規程(案)について
		学院創立100周年記念事業準備委員会の構成について
		平成20年度補正予算(案)について
		学費の改定について
第835回	平成20年10月16日	学費の改定について
		10月22日(水)評議員会について
		10月23日(木)理事会について
		11月22日(土)教育後援会主催教育講演会について 組合関係
第836回	平成20年10月18日	「大学教育開発・支援センター規程」成案の確認
		幼稚園の園則改定について
		専任大学教員採用に関する手続規程(案)について 帝塚山学院大学における研究費の不正使用防止等に関する規程(案)について
第837回	平成20年11月6日	「大学特任教授採用規程(案)」「大学特任講師選任規程(案)」について 組合関係
第838回	平成20年11月13日	パワーハラスメント問題について
		大学学長選挙について
		帝塚山学院事務組織規程改定について
		帝塚山学院顧問規程改定について 組合関係
第839回	平成20年11月20日	パワーハラスメント問題について
		平成20年度卒業式日程、平成21年度入学式日程について 組合関係
第840回	平成20年11月27日	組合関係
第841回	平成20年12月4日	平成21年度当初予算編成について
		裁判員制度導入に伴う教職員の労務管理について
		謝金支給基準に関する規程(案)について
		「専任大学教員採用に関する手続規程」「大学特任教授採用規程(案)」「 大学専門職大学院特任講師選任規程について(案)」について 組合関係
第842回	平成20年12月11日	大学外国人特任教員採用規程(案)について 組合関係
第843回	平成20年12月29日	泉ヶ丘中学校高等学校学則変更(案)について
		中学校高等学校の特待生、奨学生制度における学費の減免について
		「高等学校以下各学校専任教員採用に関する手続規程(案)」について
		「専任大学教員採用に関する手続規程」成案の確認について
		「大学特任教授採用規程(案)」について 「大学外国人特任教員採用規程(案)」について 組合関係

回数	開催年月日	議事内容
第844回	平成21年1月15日	長期雇用嘱託職員の専任化への手続きについて
		高以下教員採用に関する手続規程(案)について
		「大学特任教授採用規程」(案)について
		「大学外国人特任教員採用規程」(案)について
		大阪市国民保護避難施設の指定依頼について 組合関係
第845回	平成21年1月22日	大学狭山キャンパス施設貸与の件
		組合関係
第846回	平成21年1月29日	組合関係
第847回	平成21年2月5日	次期大学学長の内定について
		学則変更について (幼稚園・小学校・中学校・高等学校・泉ヶ丘中学校・泉ヶ丘高等学校)
		一般職契約職員雇用規程(案)について
		組合関係
第848回	平成21年2月12日	大学副学長2人制について
		大学院特任教授採用規程(案)について
		組合関係
第849回	平成21年2月19日	大学副学長2人制について
		資金運用規程(案)について
		一般職契約職員雇用規程(案)について
		組合関係
第850回	平成21年2月26日	高等学校学則変更(案)について
		高等学校学則一部変更(案)について
		資金運用規程(案)について
		一般職契約職員規程について 組合関係
第851回	平成21年3月5日	事務組織規程の改定(案)について
		組合関係
第852回	平成21年3月12日	大学人間科学部一般B日程入試(英語)問題用紙誤配布について
		平成21年度事業計画ならびに当初予算(案)について
		大学学則変更について
		大学副学長人事の内定について
		大学学部長人事の内定について(確認事項)
		高等学校以下教育改革担当理事の任命について
		本部事務局長人事の内定について
		大学学則変更に伴う寄附行為変更(案)について(再確認事項)
		3月24日(火)開催、評議員会
		3月25日(水)開催、理事会の議案について
		高等学校以下教員免許更新の免除対象となる役職について
大学職員の変形勤務・始業終業時刻の変更について 組合関係		
第853回	平成21年3月25日	各設置学校の卒業生進路状況と入試結果報告について

## 2 事業の概要

### 当年度に実施した主な事業

#### I 法人

##### (1) 大学改革

平成20年度において法人、教学が一体となって全力で取り組んだのは学院大学の改革であった。

平成19年度末において、学院大学には、従来からの厳しい環境に加えて、さらに事態の急迫化を告げる問題が発生していた。そのため従来の学部構成と名称のままでは、入学学生数の低迷により、法人全体の財政の破綻が現実のものとなりかねないという重大な危惧があった。とりわけ長年にわたる文学部の志願数の減少は破局的な段階に差しかかっていた。すなわち大手のA大学が平成22年4月には、南海電気鉄道浅香山駅前にスポーツ文化学部を創設するという情報が入り、また大手のB大学が、すでにある高校法人を事実上吸収合併しており、平成21年4月から同法人のもつ大阪南地区、和歌山に存在する計3高校を系列校とするということが判明した。

平成20年5月までに、本学院大学の組織変更と名称変更の認可を文部科学省に申請してその認可を受け学院大学が「新しく生まれ変わる」というイメージを社会に与えない限り、学院大学が生き残っていく道はないと判断した。

そこで拙速は承知の上で、極めて厳しい時間的、資源的、組織的、かつ法規的制約条件のもとではあったが、法人と大学執行部は計6回の全大学教員協議会における議論をふまえて、学院大学を西日本初のリベラル・アーツ・アンドサイエンス大学へ改組転換することを決定した。

これは本学院大学の伝統を守りながら、小規模大学の特色を生かして、学生の教育を最重視する大学へ改組転換を図るというものであった。

全関係者の懸命の努力によって、平成20年5月1日に、①文学部を改組転換してリベラルアーツ学部とする、②人間文化学部の文化学科と人間学科を、それぞれ情報メディア学科と心理学科に改組転換して、既存の食物栄養学科と併せて人間科学部に名称を変更するという申請を文部科学省に提出し、最終的に平成20年8月に同省からの認可を得ることができ、平成21年4月から学院大学はリベラルアーツ学部と人間科学部の両学部を新設して、再出発することになった。

全関係者の努力のかいあって、平成21年度の大学全体の入学予定者数は、10年振りにその定員を上廻ることができた。

同時に両学部間の交流を促進し、教授法やカリキュラム等の開発・点検をおこない、加えて補習等の学生支援体制の強化や地域社会、国際社会への貢献をはかる「教育開発・支援センター」の設置を中心とする大学再生のための採択制補助金を日本私立学校振興・共済事業団に申請し、計1億円の補助金(平成20年より5年間)を獲得することができた。

(詳細については、大学の事業報告を参照戴きたい。)

## (2)入学志願者・入学者の安定的な確保のための諸施策等の新設と強化および

### 広報体制の見直し

① 法人本部に帝塚山学院全体の学院イメージの定着と、費用対効果を十分に検討した media mix の企画、立案、執行、評価および各学校別広報の間の調整をおこなう入試・広報企画課を新設し、理事会常務委員会の傘下に新たに設置した全法的な入試・広報企画委員会の主管部署とした。

そして年間を通じて南海電気鉄道、泉北高速鉄道の全車輻に学院各校の額面広告を掲載するなど、駅貼り広告、車輻内広告、新聞・雑誌広告、チラシ、ポスター、パンフレット、インターネットHP等々各広告媒体の効果的利用を検討しかつ実践した。

② 大学のアドミッションセンターを専任教員を責任者とする体制に改組した。そして、役員、教職員、リクルーターが一丸となって、地域を限定しての徹底的な高校訪問をおこない、また数多くの説明会、見学会等を開催して、広報活動の充実を図った。

③ 住吉校事務局及び泉ヶ丘中高事務局に入学志願者・入学者の安定的な確保のための募集活動や広報活動業務を担当する部署としてそれぞれ入試課を新設して、各校の入試対策の先生方との連携を密にするよう努めた。

## (3)財政の再建と財政基盤の整備

前年度の平成19年度は、「財政再建元年」と位置づけ、それまで実質的に2年続けて赤字であった帰属収支差額(帰属収入―消費支出)の状態から脱することを第1目標にして財政運用をおこなった。平成19年度末に永年の懸案であった「独自の手当」を廃止することができ、かろうじて帰属収支の赤字から脱することができた。

平成20年度も財政再建第2年目として、前年度同様に一層の収入増と諸経費の抑制に努めた。収入増について、各校の学生定員の充足率には大きな差違がみられたが、法人全体としては多少の改善がみられ、補助金と寄付金の獲得については所期の目標額を達成することができた。

経費の抑制については、平成20年4月からの「新給与体系導入」について教職員組合との間に暫定的合意が得られたので、平均5%の給与カットの実施したのをはじめ、その他諸経費の抑制の効果により、帰属収支差額は約3億5千万円の黒字を生み出すことができた。したがってそのうちの1億円を今年度より新設の創立100周年記念事業引当特定資産に充当することができた。

## (4)経営ガバナンスの強化

月1回の行政職管理職会議を通して、本部と各学校間の事務運営の円滑化、事務組織の効率化の推進および経営企画機能の強化について検討を行った。とくに平成20年度は、21年度からの実施予定の人事考課制度の正しい理解と、適正な運用および、評価基準の徹底を図るために行政職管理者に対する考課者訓練(模擬考課練習と考課結果の検討)を計3回おこない、仕上げとして後述の連鎖雇用者に対する専任化のための人事考課の実施につなげた。

## (5) 人事制度の改革

- ①人事考課制度の導入と、扶養手当、住宅手当、調整手当、管理職手当、を除く諸手当が20年度以降の組合との協議事項になっているので、これらの早期妥結に向かって組合と協議を行ったが、協議をおこなう機会は一回に止まった。
- ②副手、実験助手補、実験助手、助手等の職務名称をもつ補助職的職位は、今後は全廃とし、そのような補助職は全て任期制の契約職員又はアルバイトとして雇用することとした。
- ③これまでに雇用期限を過ぎても連鎖的な雇用を続けてきた非専任職員に対して、所属上司の人事考課、専任化のための研修・試験、自己申告により専任化の道を開いた。
- ④平成21年度より新規に雇用する大学教員、高以下教員、行政事務職員は職種を問わず、最初は3年ないし5年の任期制とすることにした。

## (6) 平成 20 年度法人戦略予算執行明細

(単位:円)

実績明細	支払額	補助金収入額
大学狭山キャンパス耐震改修及びC棟大規模改修工事	256,231,400	68,981,000
大学狭山キャンパス多目的コート改修工事	11,025,000	
大学狭山 C⇄ 泉ヶ丘 C シャトルバス運行	11,497,500	
住吉キャンパス第二体育館改修工事	32,445,000	
住吉中高パソコン教室機種更新	20,034,000	9,167,000
泉ヶ丘中高バリアフリー化(エレベータ設置)工事	15,975,000	3,385,000
泉ヶ丘中高廊下階段床等補修工事	1,443,033	
泉ヶ丘中高防犯カメラ設置工事	1,749,300	
小学校トイレ修繕工事	7,980,000	
小学校遊具周囲セーフティマット設置工事	2,205,000	
幼稚園南側防砂ネット及び土入替え工事	2,520,000	
入試・広報企画委員会	34,441,699	
帝塚山学院通信発行関係	6,369,462	
創立 100 周年発起人総会	1,536,897	
合 計	405,453,291	81,533,000

## II 大学部門

### (1) 大学院

#### ① 帝塚山学院大学大学院人間科学研究科

平成20年7月6日～8月3日

5回に亘って「公開カウンセリング講座 2008」を開催した。

#### ② 3月29日、大阪府立大学と合同研究会を行った。

### (2) 大学

#### ① 学院大学改革—学部、学科改組

平成20年度、法人、教学あげて学院大学改革に取り組み、21年度4月に向けてリベラルアーツ学部、人間科学部の2学部新設をめざし大改革に取り組んだ。

平成20年5月1日、リベラルアーツ学部と、人間文化学部の情報メディア学科、心理学科の届け出設置申請し、6月30日に設置の認可を得る。引き続き、人間文化学部から人間科学部への名称変更への認可を8月21日に得る。これによって平成21年4月から、人文系分野(アーツ)を中心に、自由(リベラル)な学びを提供する学部と、人間を取り巻く社会の諸問題に科学の面からアプローチする学部をもつ、名実ともに "Liberal Arts & Sciences" 大学として新たなスタートをきることになる。

#### ② 教育開発・支援センター

2学部4学科に共通する部門の企画・運営を中心に、学生支援体制の強化、教育・研究の充実と整備、地域の知の拠点としての地域貢献プログラムの開発・運営に取り組む目的で平成20年12月1日に開設。いわゆる「定員割れ補助」の採択を持ってスタート。今後年間2000万円の補助を受け、センターの運営を始める。場所は狭山キャンパスC棟2階。センター事務員として、事務長(平成21年3月より新規採用)、課長(平成21年4月より異動配属)、派遣スタッフ。教育開発・支援センター開設記念講演会を実施し、学内外に周知を図り、本格的な始動は平成21年度よりとし、平成20年度はその準備作業を主に行った。

##### 1. 規定により事業内容確立

###### 教育開発・支援センターの事業

- 1) 大学教育に関する資料・情報の収集
- 2) 教育施策の企画・開発のための調査・研究
- 3) 学生の学習支援に関する企画・開発・提案・実行
- 4) 大学の共通教育に関する企画・開発・提案(一部実行を含む)
- 5) 地域連携に関する企画・提案・実行

##### 2. 教育開発・支援センター開設記念講演会と対談

日時:平成21年2月28日(土曜日)午後2時～4時30分

場所:狭山キャンパスE304

講演:加藤 千洋 氏(朝日新聞編集委員、「報道ステーション」元コメンテーター)

演題:「大学生の君たちへ - 人生の先輩からのメッセージ」

対談:「地域の知の拠点として - 狭山ニュータウンと泉北ニュータウンの課題をさぐる」(大阪狭山市と堺市泉北ニュータウンのそれぞれにおいて、行政と市民の橋渡しの役割を果たし、地域協働活動を展開あるいはコーディネートしている人物を2名お招きし、対談形式で地域課題を学んだ。)

後日、講演および座談会のテープをおこし、報告書としてまとめた。

### 3. 一般教養科目の共通化

一般教養科目のプラットフォーム化を一部実施し、バラエティに富む科目を提供するとともに、両学部学生の交流を実現する。

総合教育科目、外国語科目は、平成21年度1回生よりスタートするよう時間割等を配置。

### 4. 学生支援プログラムの企画・運営

いわゆる「面倒見のよい大学」を目指して、平成21年4月からの徹底したエンロールメント・マネジメントの実践に向けて準備に入る。学生支援強化策として、修学支援(含、リメディアル教育)、学生相談、メンタルヘルス支援、課外活動支援、学生生活上の支援等を統合的に実施するための準備を進めた。

### 5. 早期入学手続き者に対する入学前教育

eラーニング『知ってナットク帝塚山学院』『よくわかる作文講座』を全員に対し案内した。

スクーリング 11/24・1/10・2/14・3/14

対象者:94名(協定・特別推薦入試入学予定者)

作文講座課題 全3回(添削をして返却)

対象者:270名 推薦入試合格手続き者

(リベラルアーツ学部、人間科学部情報メディア学科、心理学科)

生物・化学問題集 各1冊

対象者:59名 推薦入試合格手続き者(食物栄養学科)

入学前教育に関するアンケート調査を、全プログラム終了時に実施し結果を集計した。

### 6. 生涯学習プログラムの企画・運営

地域の知の拠点として、少子高齢化や国際化等、地域の抱える課題解決に積極的に取り組むことをその役割とする。自治体、地域NPO、地元企業等と連携し、教育・福祉・防災・コミュニティ活動等の分野において、地域資源(含、人材)の発掘と養成、課題解決のための地域活動に、地域と協同して取り組んだ。

### 7. 他大学との連携

大学コンソーシアム大阪と関西経済同友会による寄附講座「大阪産業論」の幹事校を務め、本学の学生に実業界のトップで活躍される方々の講演を提供した。

国際シンポジウム協賛—高麗大学日本研究センター主催 国際シンポジウム「グローバル時代の自国研究と外国研究」を後援・共同開催した。

### ③入学志願者・入学者の安定的確保

#### ・新入試区分

大学全入時代において入学定員を充足させるため、大学入試広報戦略会議の下、アドミッションセンターを先頭に受験生獲得の必死の努力がなされた。

新しく入試区分として、私立高校対象の「協定校特別推薦」、公立高校対象の「特別推薦」を設け、約 90 数名に昇る受験生を獲得した。当入試区分は、帝塚山学院大学の教育理念・教育目的のよき理解者との協定を深めることによって、入学者の安定的確保の一助とするという方針のもとで、はじめられたものであり、今後、受験生確保の主流となるものと思われる。「協定校特別推薦」「特別推薦」の実施とともに入学前教育を格段に充実させることが必要となり、e learning による自校教育、作文講座、4回にわたるスクーリングを行った。新入学生は、最終の数はリベラルアーツ学部が177名、人間科学部、情報メディア学科が108名、心理学科180名、食物栄養88名と、全体で520の定員のところで、553名と入学定員を上回る事ができた。

### ④教育力の強化と教育活動の活性化

・GPA(Grade Point Average)を導入し、学生指導の強化を図るとともに、奨学生選考の際の一つの基準として活用の検討を進めた。

・全学的にFD(Faculty Development)を強化し、教育力の強化を図る努力を続けた。特に平成21年度9月リベラルアーツ学部に入学者の視覚障害学生の受け入れに備えて、FD委員会を数度にわたり開催し、教職員の意識の向上とともに具体的なサポート体制の検討を続けている。

### ⑤キャリア形成支援

#### ・キャリア形成支援への取り組み

ゼミ指導教員とゼミ学生(4年次生)の就職状況に関する情報を共有し、特に就職活動に出遅れた学生に対する支援(キャリアセンター活用促進)の強化を図った。

また、就職活動本番を控えた3年次生に対する就職講座(面接・グループディスカッション対策講座)では、模擬面接における面接官役として教員の参加を得、就職に臨む学生の実像の理解を得る機会となった。

## Ⅲ 中学校高等学校

### (1)帝塚山学院中学校高等学校

#### ①中高新コース制の導入

平成20年度は前年度のグランドデザイン検討委員会の答申を教育現場で具現化するための「グランドデザイン実行検討委員会」が立ち上げられ、理念を具体化するための様々な改革案が検討された。

改革のポイントは理念を具体化するためには生徒の基礎学力の充実と主体性の確立のために必要な生徒と教師の関わり合いの時間確保が必要であり、そのためには、現行のコースの

細分化による様々な弊害の解消、自主性、主体性を育む仕組みの検討を行うことになった。検討と答申は以下の通りである。尚、実施時期は平成22年度よりの予定。

i コース制の見直し

中学校 関学コース(2クラス) ヴェルジェコース(4クラス)

高等学校 関学コース(2クラス)

ヴェルジェコース(4クラス)

- ・ 文系専攻
- ・ 理系専攻
- ・ 美術・映像・デザイン専攻
- ・ イラスト・マンガ・アニメ専攻
- ・ クラシック音楽専攻
- ・ ポピュラー音楽・ミュージカル専攻

ii 校時の見直し

週39時間から36時間制へ

週2日のみ7限授業、3日は6限授業、土曜、4限授業 計 36時間

iii カリキュラムの再編

中学では高校教師も参加した形の習熟度別授業を取り入れ、基礎学力のアップに取組む仕組みを確立する。「総合」の教科で調べ学習を重視し自主性、主体性を育てる。

高校では、複雑化しすぎたコースの専攻別のカリキュラムの共通化をめざし、全体の学力アップとコース間格差の是正を目指す。土曜講座(創研講座)を設定し、主体的な調べ学習、学究、探求、創造力を育成する。

## ②生徒募集

中学校は 200 名の定員を確保することができたが、214 名という入学者数は入試対策部の当初予想を下回った。この結果には不況の影響が濃く、来年度募集は本校にとって引き続き油断できないものとなるだろう。特に新たに設立される大学連携校との競合を含め、他校との競合激化を視野に入れる必要がある。また、阪神なんば線の延伸など、近畿圏で受験生の流動性が高まることが予想され、本校がプラスの影響を得るような広報宣伝が不可欠であろう。入試行事の時期・頻度および内容の見直しは不可欠であり、入試方式についても日程・回数ともに検討する必要があるだろう。

高等学校は2年連続となった100名超の募集を充足に近い形で終えることができた。平成22年度の高校入試は約200名の内部生を有するため、40名程度の外部募集でよい。平成21年度は美術コースのみで合格者が35名いた。公立攻勢の流れが強まることは予想されるが、「イラスト・マンガ・アニメ専攻」は私学にしかない教育の方向性を打ち出しており、この点での訴求力は衰えないと考える。また、本年度で50名の募集を終了する関学コースだが、衰えない受験生のニーズから考えても、内部進学者数に応じて補充的に若干名の外部募集枠を設定することも考えたい。

### ③生徒指導

生徒指導部・学年担任団が連携して、風紀・マナー指導を行い、効果をあげることができた。生徒一人一人の変化を早期に発見し、生徒への対応をすばやく行うために生徒指導記録用紙の記入を徹底した。

また保護者に対する緊急連絡手段として、従来の電話連絡網に代わり「Fair Cast 子ども安全連絡網」という(株)NTTのシステムを平成21年度より導入することを決定した。

これは、保護者のメールや電話やFAXに一斉連絡が可能なシステムで、個人情報を保護した上で、迅速に正確な情報を伝えることができるものとなっている。

保護者との連携をより密にする手段として非常に有用なことは言うまでもなく、万一の安全対策としてのツールにもなりうるものと期待している。

## (2) 泉ヶ丘中学校高等学校

### ①ハイレベル進学校を目指して

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校は創立4半世紀を経て、中堅進学校からトップ進学校への飛躍の時を迎えている。大学進学実績は、21年度入試において国公立の合格者総数では過去最高の113名となり、前年比140%の増加であった。京大等の国立難関10校についても10名から23名へと倍増、国公立医学部医学科も2名から5名に躍進した。医進コース2期生で看板に恥じない結果を出すことできたといえよう。医歯薬系学部も78名から98名に増加し、「医歯薬系に強い」というイメージが定着しつつある。また、4年前に改編を行った高校3年コースも2期生が卒業し、合格者延べ人数で、国公立27名、私立157名と健闘した。

### ②生徒、保護者の進路希望を可能にする学力定着の体制を作る

平成20年度は7年前に新設した医進コースの2期生が高校3年に達したので、高校3年生での教科指導体制をさらに強化した。まず、外部模試の受験を積極的に勧め、模試で鍛えるという体制をとった。また、下校時間後は午後7時まで自習室を開放して、教科担当者が質問等の対応にあたった。さらに、センター試験対策を強化するために、冬休み中にテスト演習会を実施した。センター試験後も特別補講体制を強化し、私学対策、国公立2次対策の講座を多数開講して、最後まで諦めさせない指導を徹底した。

高2においても医進コースの特化を進めたが、一部の教科科目では、国立文系トップクラスとの合併授業を行ない、よりきめの細かい授業体制を模索した。さらに、医進コース生徒対象の医学部見学会を3月に実施した。

理系についてはできるだけ国公立の受験を勧め、私立理系コースは6年コースと3年コースを融合した医療系進学コースを21年度に設置することにした。

高校3年コースは国際科を男女共学・国立型カリキュラムに変更して4年目を迎えた。国際科は高3で国立文系と私立文系に分けてきめ細かい指導を行った。また、放課後の補講習は6年コースと合同で行い、刺激を与え合った。

授業改善については授業評価を導入して3年目になるが、まだ組織的な研究授業は未実施であり、教科を中心にした授業改善をさらに促進したい。

### ③体力、気力、規律と自主性のある生徒を育成する

生徒指導部を中心として基本的な生活習慣を確立させる指導を行い、一定の効果をあげることができた。その一つは遅刻件数、特別指導件数が減少したことである。これにより学校全体に落ち着いた雰囲気醸成されている。しかし、まだ、遅刻、ベル席に関しては定着したとは言いがたく、始業5分前着席指導を随時行った。バス・電車内でのマナーについても募集に直結する側面であるので、さらに指導を強化していくつもりである。

クラブ活動も活発になってきており、高校男子バレー部が初めて近畿大会に出場した。また高校男子サッカー一部も府大会でベスト16の常連となり、サッカーと勉強の両立を目指す受験生の増加につながっている。文化系クラブでは3年前に創部した管弦楽部が中高あわせて部員が60名の大所帯へと成長し、文系クラブの大きな受け皿となっている。

### ④募集活動に力を入れ、生徒の安定確保に努める

本校は進学校としての一定の評価を得ているが、待っているだけで受験生が集まる時代ではなくなった。本校でも、募集活動にこれまで以上力を入れている。何よりも、受験を控えた生徒・児童にまず学校に来てもらえるような仕掛けを工夫している。その一つとして、塾・学校訪問を強化した。入試対策部全員が塾を回り、それ以外の専任教員が全員中学を訪問するシステムを18年度から始めた。また、渉外担当の中学校長OBを1名増員し、主に南河内地区を担当した。こういった募集活動の強化の結果、高校3年コースの併願は20年度の147名から264名へと80%増加した。

広報媒体では、学校案内を6年コースと3年コースの2本立てにして、より特色を鮮明にアピールできるようなものにした。さらに、学校案内を補完する資料として「データブック」を発行して、詳しい情報を提供している。また、小学4・5年生対象の体験入学も3年目で定着しつつあり、定員の倍近い申し込みがあった。しかし、結果としては、さまざまな逆風により、21年度は中学が定員160名のところ144名、高校が定員120名のところ93名しか入学者を確保できなかった。今後の対策としては、まず、入学した生徒をきちんと丁寧に指導して6年後、3年後の実績につなげることに力を注入したい。高校3年コースは理数を理数Sと理数の習熟度に分けて、1年生から生徒の学力により即した指導体制を始める。さらに、22年度の募集については、中学入試・高校入試とも、コース設定の見直し、入試区分の再検討、入試広報の強化などにより、より多くの受験生を集めて定員確保に全力を注ぎたい。

### ⑤施設面の改善について

平成20年度はバリアフリー化の第一歩として、玄関への車椅子によるアプローチとエレベータを設置した。これによって、車椅子・松葉杖などを使う訪問者・在校生にとってより快適な環境を提供することができた。障害者用のトイレの設置が次の課題であり、数年中に実現させたい。

## IV 小学校・幼稚園

### (1) 小学校

品のある学校作りの推進、けじめのある児童の育成。

#### ①平成21年度入試の結果

平成21年度より募集定員を114名(内部55名含む)とした。受験者数は184名(内部55名含む)。外部受験者にとって2.3倍の競争率となり厳しいものであった。来年度においても、受験者数の獲得を確実なものにしたい。

#### ②小学校教育目標の具体的実践

##### 1) けじめある行動の徹底

全児童が、礼儀正しい挨拶の励行を実践し、品のある学校作りに着実に進んでいる。  
教学理念「高い志、豊かな感性、他への思いやり」の具体的実践を図る。

##### 2) 学力の充実

単に点数を追い求めるのではなく、いろいろな角度からの学力の定着を図る。  
6年生において、京都大学講師 北原達正先生による出前授業を実施。(3月3日)  
『「科学」を通じた人間教育』のコンセプトの下、「火星探査ロボットを作ろう」という授業を行った。

#### ③教員研修の充実

プール授業、臨海学舎を視野に入れ、AEDの機器の取り扱いなども含め、水難救助講習会(4回)や危機管理対応のための研修を実施した。

#### ④幼稚園との連携の強化と充実

幼稚園年長保護者に対して、小学校説明会の実施。学校施設案内。  
年長園児に対して、学校案内や小学校食堂での給食、英語・音楽・国語・算数などの体験学習を実施した。  
平成21年度より、1クラス38人学級になるため、小学校1年生の内部進学者が半数となる。幼稚園・小学校の連携をより深めたものとした。

#### ⑤中学校との連携の強化と充実

中学校が開催するオープンスクールへの参加。  
6年生児童に対して、中学校校長先生による説明会の実施。5年生児童・保護者に対しても説明会を実施。在校生による体験談やパワーポイントによる説明会を実施した。今後は一層の内部進学を強化する。

#### ⑥国際交流の充実

カナダ訪問 平成20年8月18日～25日

カナダ クイーンマーガレットスクール(ビクトリア)

参加児童(4, 5, 6年生)39名 教員4名  
オーストラリア来校 平成20年12月5日～11日  
オーストラリア アーミデイルスクール(ニューサウスウェールズ)  
参加児童 12名 教員2名 保護者3名  
訪問する・受け入れるを实践し、学校ぐるみの国際交流を図る。

## (2)幼稚園

- ①平成21年度入園テストの結果、年少児48名 年中児5名 年長児2名 が合格し、在園児を含めると合計156名となった。
- ②年中児、年長児対象の知育教育も実施始めてから3年目を迎え、さらに、今年度から運動能力を高めることに主眼をおき、教育内容を更に充実したものとなった。
- ③年間指導計画等を作成し保護者、塾、受験生に帝塚山学院幼稚園の日々の教育内容を具体的に示すことによって、理解協力を得ることとなった。
- ④幼小連携において、保護者の小学部見学、園児の音楽、英会話、国語、算数の授業体験、さらに小学部給食場での試食会等充実したものとなった。今後さらに、機会を多く持ち、小学部との連携をはかっていきたい。
- ⑤幼稚園主任が年長、年中保護者対象に実施している「パン教室」には参加者も多く、大変好評であった。教員と保護者との交流を通して、幼稚園に対する信頼が、今後の教育への理解につながっていくものと確信する。
- ⑥設備環境の充実として、南側の園庭を整備し、園児が安全で、のびのびと遊ぶことができるようになった。また、安全・安心な環境整備として、年2回遊具の補修点検を業者に依頼した。砂場の衛生管理として、年2回砂場の消毒を依頼している。

# V. 平成20年度学生異動及び卒業生の進路

## 帝塚山学院大学大学院人間科学研究科 入試・在籍・退学・進路状況

### 【大学院入試状況】

	入試の種類				I期				II期				合計						
	志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	募集定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率	
平成17年度	人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学コース	56	49	12	9	61	61	5	3	117	110	17	12					
		健康科学コース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	130%
		メディア・言語文化コース	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1					
平成18年度	人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学コース	79	71	10	7	52	52	6	4	131	123	16	11					
		健康科学コース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	140%
		メディア・言語文化コース	1	1	1	1	3	2	2	2	4	4	3	3					
平成19年度	臨床心理学専攻(専門職学位課程) 人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	51	49	15	14	52	52	11	8	103	101	26	22	20	103	101	26	110%
		健康科学コース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10%
		メディア・言語文化コース	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1					
平成20年度	臨床心理学専攻(専門職学位課程) 人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	67	67	14	9	55	53	12	6	122	120	26	15	20	122	120	26	75%
		健康科学コース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10%
		メディア・言語文化コース	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1					
平成21年度	臨床心理学専攻(専門職学位課程) 人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	63	62	17	10	26	26	14	11	89	88	31	21	20	89	88	31	105%
		健康科学コース	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	10	1	1	0	20%
		メディア・言語文化コース	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2					

大学院人間科学研究科

## 【大学院人間科学研究科】

在学者数(5月1日現在) ※21年度は4月1日現在

	1年			2年			計	
	男	女	計	男	女	計	男	女
臨床	2	10	12	6	6	12	8	16
人間科学	0	1	1	0	3	3	0	4
臨床	4	7	11	4	10	14	8	17
人間科学	1	2	3	0	2	2	1	4
臨床	9	13	22	4	7	11	13	20
人間科学	0	1	1	1	2	3	1	3
臨床	7	8	15	9	13	22	16	21
人間科学	1	0	1	0	1	1	1	1
臨床	4	17	21	7	8	15	11	25
人間科学	0	2	2	1	0	1	1	2

## 退学者数

異動理由	一身上の都合	進路変更	計
18年度	0	0	0
19年度	0	0	0
20年度	0	0	0

# 【大学院】進路(就職)

21年4月8日現在

業種	大学院		計 人数
	企業名等	人数	
法務省	法務省保護矯正局 奈良少年院(正職員) 広島少年鑑別所(正職員)	1 1	1 1
医療関係	(計) 丹比荘病院(正職員) クリニック しょうわ(正職員) メンタルクリニック(正職員) はしむらメンタルクリニック(非常勤)	2	2
教育委員会	(計) 摂津市教育委員会(契約職員) 和泉市立教育研究所(契約職員)	1 1	1 1
保健センター・保健福祉関係	(計) 亀山市保健福祉子ども総合支援室(契約職員) 浜松市精神保健福祉センター(契約職員) 泉南市保健センター(契約職員) 滋賀県立精神保健福祉センター(契約職員)	2	2
児童相談所	(計) 京都府宇治児童相談所(非常勤)	4	4
その他研究所	(計) こども心身医療研究所(契約職員)	1 1	1 1
その他教育機関	(計) 和泉市幼児教室(非常勤)	1	1
就職者 合計	(人)	15	15
進学者(進学希望者含む)	(人)	1	1
修了者合計	(人)	23	23
就職率=就職者/(修了者-進学者) (%)		68.2%	68.2%

# 帝塚山学院大学 リベラルアーツ学部・文学部 入試・在籍・退学・進路状況

## 【入試状況】

入試の種類	指定校推薦 (S・後期S含む)				協定・特別推薦				公募制推薦 (専願・併願・AO)				内部高校 (住吉・泉ヶ丘)				一般入試 (センター含む)				その他 (社会人・帰国生)				総合計						
	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	募集定員	志願者	合格者	入学者	定員充足率		
17年度	0	28	28	28	0	0	0	0	160	81	43	43	0	7	7	7	140	114	113	39	0	0	0	0	300	230	191	117	39%		
	18年度	0	29	29	29	0	0	0	0	160	79	76	35	0	3	3	3	140	96	84	26	0	0	0	0	300	207	192	93	31%	
		19年度	0	68	66	66	0	0	0	0	146	91	76	36	0	5	5	5	84	133	111	47	0	0	0	0	230	297	258	154	67%
			20年度	0	54	54	54	0	0	0	0	120	82	77	45	0	1	1	1	110	90	77	24	1	1	1	1	230	228	210	125
21年度				15	60	60	60	0	37	37	36	95	90	64	46	0	9	9	7	90	87	76	28	0	0	0	0	200	283	246	177

※ 21年度は公募性推薦志願者・合格者に9月入学生1名を含む

## 【大学 リベラルラーアツ学部・文学部】

在学者数(5月1日現在) ※21年度は4月1日現在

	1年			2年			3年			4年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	17年度	0	117	117	0	101	101	0	140	140	0	153	153	0	511
18年度	0	92	92	0	107	107	0	99	99	0	150	150	0	448	448
19年度	78	77	155	0	85	85	0	107	107	0	116	116	78	385	463
20年度	62	63	125	70	72	142	0	81	81	0	111	111	132	327	459
21年度				52	61	113	66	73	139	0	95	95	118	229	347
リベラル アツ学部	82	95	177	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	95	177

2・3回生は現代コミュニケーション学科  
4回生以上はコミュニケーション学科と国際文化学科

## 退学者数

異動理由	一身上の都合	進路変更	計
18年度	15名	1名	16名
19年度	10名	10名	20名
20年度	15名	8名	23名

【大学・文学部】 進路(就職・大学院) 1/2

21年4月8日現在

業種	文学部			
	国際文化学科 企業名等	人数	コミュニケーション学科 企業名等	計 人数
土木建設業・鉱業				
製造業	(計) 株式会社 水谷ネーム 石堂硝子 株式会社	0 1 1	0 エーゼット 株式会社 エーゼット 有限会社 錦鉄工 丸信製粉 株式会社	0 1 1 1
卸売業・商社	(計)	2	(計) 株式会社 ジュン ダントー 株式会社 Paris Lagal	3 1 1 1
小売業	(計) 株式会社 AOKIホールディングス 株式会社 ダイエー マックスバリュ中部(株) 株式会社 ハートフレンジ コーナン商事 株式会社 株式会社 ホンダネットナラ クレアーズ日本株式会社 株式会社 フレンドリー 株式会社 ラッシュジュヤパン 東京靴株式会社 株式会社 ドラッグイレブン 株式会社 テンポバスターズ	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1	(計) 株式会社 ワールドストアパートナー 株式会社 スリーエム 上新電機株式会社 資生堂販売株式会社 株式会社 ダスキン 株式会社 みやもと	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1
金融業	(計) りそな銀行 株式会社 ジャックス 鳥取いなば農業共同組合	13 1 1 1	(計) 日本生命保険相互会社 倉吉信用金庫	6 1 1
	(計)	3	(計)	5

【大学・文学部】 進路(就職・大学院) 2/2

21年4月8日現在

業 種	文学部			計
	国際文化学科 企業名等	人数	コミュニケーション学科 企業名等	
不動産・運輸通信・エネルギー	株式会社 レピア	1	丸紅テレコム	1
	(計)	1	(計)	1
マスコミ	株式会社 プリントテクニカ 株式会社 プリントテクニカ	1 1		
	(計)	2	(計)	2
サービス業	トップアール株式会社 チエルシージャパン株式会社 ワシントンホテル 株式会社 ダイワロイヤル 株式会社 ウインテック 株式会社 ジェイエスエス 株式会社 ジャパンテクニカルソリューア 株式会社 森川眼科 新長堀健康管理センター その他	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3	株式会社 エーエヌエースカイパル 新大阪法律事務所 ITコミュニケーションズ 株式会社 株式会社 エクストラランス 株式会社 高見 近大医学部附属病院	1 1 1 1 1 1
	(計)	12	(計)	18
塾・各種学校等教育産業			学校法人帝塚山学院	2
	(計)	0	(計)	2
公共施設	和泉市立郷荘中学校(英語 常勤講師 1年契約) 堺市内中学校 サポートネットワーク (NPO法人) 堺市立公共図書館	1 1 1 1		
	(計)	4	(計)	4
就職者 合計	(人)	37		60
進学者(進学希望者含む)	(人)	1		3
卒業者合計	(人)	55		95
就職率=就職者/卒業者-進学者 (%)		68.50%		60.50%
				65.20%



# 【大学・人間科学部・人間文化学部】

在学者数(5月1日現在) ※21年度は4月1日現在

	1年						2年						3年						4年以上						計					
	男		女		計		男		女		計		男		女		計		男		女		計		男		女		計	
	17年度	97	69	166	81	180	169	75	94	169	6	120	126	6	120	126	277	364	641	277	364	641	277	364	641	277	364	641	277	364
18年度	96	77	173	67	156	176	95	81	176	72	98	170	72	98	170	352	323	675	352	323	675	352	323	675	352	323	675	352	323	675
19年度	74	61	135	77	167	156	91	65	156	95	84	179	95	84	179	350	287	637	350	287	637	350	287	637	350	287	637	350	287	637
20年度	68	59	127	59	131	131	86	80	166	97	69	166	97	69	166	323	267	590	323	267	590	323	267	590	323	267	590	323	267	590
21年度	56	52	108	57	121	134	73	61	134	100	84	184	100	84	184	56	52	108	56	52	108	56	52	108	56	52	108	56	52	108

	1年						2年						3年						4年以上						計					
	男		女		計		男		女		計		男		女		計		男		女		計		男		女		計	
	17年度	66	125	191	121	186	162	53	109	162	2	178	180	2	178	180	186	533	719	186	533	719	186	533	719	186	533	719	186	533
18年度	69	105	174	119	181	190	64	126	190	47	119	166	47	119	166	242	469	711	242	469	711	242	469	711	242	469	711	242	469	711
19年度	65	93	158	99	165	184	60	124	184	66	129	195	66	129	195	257	445	702	257	445	702	257	445	702	257	445	702	257	445	702
20年度	61	122	183	87	151	168	66	102	168	67	128	195	67	128	195	258	439	697	258	439	697	258	439	697	258	439	697	258	439	697
21年度	72	108	180	115	173	151	63	88	151	73	107	180	73	107	180	194	310	504	194	310	504	194	310	504	194	310	504	194	310	504

	1年						2年						3年						4年以上						計					
	男		女		計		男		女		計		男		女		計		男		女		計		男		女		計	
	17年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18年度	14	81	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	81	95	14	81	95	14	81	95	14	81	95	14	81	95
19年度	12	90	102	13	89	89	13	76	89	0	0	0	0	0	0	25	166	191	25	166	191	25	166	191	25	166	191	25	166	191
20年度	8	89	97	12	83	95	13	76	89	13	89	88	13	89	88	33	248	281	33	248	281	33	248	281	33	248	281	33	248	281
21年度	10	78	88	8	87	95	8	87	95	11	80	91	13	75	88	42	320	362	42	320	362	42	320	362	42	320	362	42	320	362

	1年						2年						3年						4年以上						計					
	男		女		計		男		女		計		男		女		計		男		女		計		男		女		計	
	17年度	163	194	357	202	366	331	128	203	331	8	298	306	8	298	306	463	897	1360	463	897	1360	463	897	1360	463	897	1360	463	897
18年度	179	263	442	186	337	366	159	207	366	119	217	336	119	217	336	608	873	1481	608	873	1481	608	873	1481	608	873	1481	608	873	1481
19年度	151	244	395	252	421	340	151	189	340	161	213	374	161	213	374	632	898	1530	632	898	1530	632	898	1530	632	898	1530	632	898	1530
20年度	137	270	407	229	377	423	148	258	423	165	258	423	164	197	361	164	197	361	614	954	1568	614	954	1568	614	954	1568	614	954	1568
21年度	138	238	376	259	389	376	130	229	376	147	266	452	186	266	452	473	832	1305	473	832	1305	473	832	1305	473	832	1305	473	832	1305

【大学・人間科学部・人間文化学部】

退学者数

異動理由	一身上の都合	進路変更	病氣(自宅療養)	経済的理由	家庭の事情	一身上の都合	計
18年度	21	14	3	2	1	0	41
19年度	12	11	7	6	4	1	41
20年度	5	14	4	2	2	0	27

【大学・人間文化学部】

進路(就職・大学院) 1/3

21年4月8日現在

業種	人間文化学部				計 人数
	文化学科		人間学科		
	企業名等	人数	企業名等	人数	
土木建設業・鉱業	ハンワホームズ株式会社 夢真 ホールディングス	1	大和ハウス工業 株式会社 大鉄工業 株式会社 三宝電機 株式会社 その他	1 1 1 3	8
	(計)	2	(計)	6	
製造業	光洋化学 株式会社 株式会社 テステイパル シノプフーズ 株式会社 近畿製粉 株式会社 株式会社 ジェイテクト 株式会社 アサヒファイブ 123トロファイブ 株式会社 その他	1 1 1 2 1 1 1 6	大塚食品 株式会社 株式会社 再春館製薬所 株式会社 ジャクエツ タケダハム 株式会社 ベガサスミシン製造 株式会社 株式会社 千代田テクノル ミナト医科学 株式会社 その他	1 1 1 1 1 1 1 10	31
	(計)	14	(計)	17	
卸売業・商社	シンワオックス 株式会社 株式会社 ハクタカ サンレイ空調 株式会社	1 1 1	水戸工業 株式会社 ジャヴァグループ 株式会社 ジュエンアシダ シンワオックス 株式会社 株式会社 バリエ 株式会社 アステイス 株式会社 三久食品 株式会社 極東商會 その他	2 1 1 1 1 1 1 1 3	15
	(計)	3	(計)	12	

【大学・人間文化学部】

進路(就職・大学院) 2/3

21年4月8日現在

業種	人間文化学部		人数	企業名等	人数	計 人数	
	文化学科	人間学科					
小売業	株式会社 高島屋 資生堂販売株式会社 株式会社 ミドリ電化 株式会社 ヨドバシカメラ コーナン商事株式会社 株式会社 赤ちやん本舗 大阪トヨペット株式会社 トヨタローラー南海株式会社 ネットトヨタ南海株式会社 日産プリンス大阪販売株式会社 西日本三菱自動車販売株式会社 株式会社 スズキ自販近畿 株式会社 ベストバイ 株式会社 万代 その他	資生堂販売株式会社 日本マクドナルド株式会社 株式会社 アルペン アシックスビジネスアテンド株式会社 株式会社 ワールドストアパートナーズ 青山商事株式会社 三共興ファッションサービス株式会社 トリンプ・スタッフ・サービス株式会社 株式会社 キリン堂 トヨタローラー大阪株式会社 ネットトヨタニューリー北大阪株式会社 トヨタローラー和歌山株式会社 株式会社 ホンダ泉州販売 株式会社 クラオ その他	1 1 3 2 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 2 7	株式会社 高島屋 資生堂販売株式会社 株式会社 ミドリ電化 株式会社 ヨドバシカメラ コーナン商事株式会社 株式会社 赤ちやん本舗 大阪トヨペット株式会社 トヨタローラー南海株式会社 ネットトヨタ南海株式会社 日産プリンス大阪販売株式会社 西日本三菱自動車販売株式会社 株式会社 スズキ自販近畿 株式会社 ベストバイ 株式会社 万代 その他	27	24	51
金融業	(計) 生命保険相互会社 株式会社 三井住友銀行 鳥取中央農業協同組合	生命保険相互会社 住友生命保険相互会社 株式会社 かんぽ生命保険 三菱UFJ証券株式会社 アコム株式会社 大阪東信用金庫 株式会社 ニュートン・フィナンシャル・コンサルティン 兵庫西農業協同組合 紀の里農業協同組合 有田農業協同組合	1 1 1	生命保険相互会社 住友生命保険相互会社 株式会社 かんぽ生命保険 三菱UFJ証券株式会社 アコム株式会社 大阪東信用金庫 株式会社 ニュートン・フィナンシャル・コンサルティン 兵庫西農業協同組合 紀の里農業協同組合 有田農業協同組合	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10	13
不動産・運輸通信・エネルギー	株式会社 レオパレス21 郵便事業株式会社 不動産(事務) 株式会社 エイブル 佐川急便株式会社	株式会社 ロード 株式会社 東急コミュニティー	1 1 1 1 1	株式会社 ロード 株式会社 東急コミュニティー	1 1	2	7

【大学・人間文化学部】

進路(就職・大学院) 3/3

21年4月8日現在

業種	文化学科		人間文化学部		人間学科		計 人数
	企業名等	人数	企業名等	人数	企業名等	人数	
マスコミ	ジャパンプリント株式会社 日進広告株式会社 株式会社 プレスクリエイト	1 1 1	株式会社 JSコーポレーション	1			
サービス業	(計) 郵便局株式会社 トランスコスモス株式会社 株式会社 ラウンドワン 韓信インターナショナル株式会社 株式会社 カービュー 株式会社 ベリサーブ 株式会社 S-PLANET 株式会社 ソフトウェアコントロール エヌシーエステクノロジーズ株式会社 株式会社 マックス 大共発観光株式会社 株式会社 ガイアシステム 株式会社 プロフトみどり 三宅法律事務所 西成民主診療所 その他	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 14	(計) 郵便局株式会社 株式会社 KDDIエボルバ トランスコスモス株式会社 株式会社 ラウンドワン 徳島ターミナルビル株式会社 株式会社 スポーツアシスト ラディックス株式会社 ロングライフホールディング株式会社 株式会社 バイオテック 株式会社 にちほシンクタンク 株式会社 ソフトウェア・サービス ヤチヨコシステム株式会社 ユニバーサル情報システム株式会社 アスクラボ株式会社 医療法人 翔永会 飯島クリニック その他	1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 13			4
塾・各種学校等教育産業	(計) 学校法人 帝塚山学院 滋慶学園グループ IDOMコーポレーション 株式会社	30 2 1 1	(計) 株式会社 びなる IDOMコーポレーション 株式会社 福祉法人 愛育社 久世保育園	28 1 1 1			58
公共施設	(計) 和歌山市(非常勤職員)	4 1	(計) 社会福祉法人 わらしべ会 大阪府警察本部 堺市東区役所(生活援護課) 社会福祉法人 皆楽園 社会福祉法人 子供の家	3 1 1 1 1			7
就職者 合計 (人)		1	(計)	5			6
進学者(進学希望者含む) (人)		92		108			200
卒業者合計 (人)		5		18			23
就職率=就職者/卒業者-進学者 (%)		139		167			306
		68.7%		72.5%			70.7%

帝塚山学院高等学校 入試・在籍・退学・進学状況

【入試状況】 一次・二次の計

平成	新1年										募集定員	定員充足率 %
	志願者		合格者		入学者		合格者		入学者			
	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部		
17年度	195	30	225	195	29	224	195	25	220		240	91.7
18年度	172	50	222	172	48	220	172	34	206		240	85.8
19年度	146	79	225	146	79	225	146	66	212		240	88.3
20年度	123	133	256	121	132	253	120	101	221		240	92.1
21年度	146	119	265	145	116	261	144	90	234		240	97.5

【在籍状況】

平成	1年		2年		3年		合 計
	女	子	女	子	女	子	
17年度	220		242		233		695
18年度	206		215		238		659
19年度	212		202		215		629
20年度	222		203		193		618
21年度	237		213		200		650

【退学状況】

平成	異 動 理 由	人 数
18年度	1. 一身上の理由	3
	2. 進路変更	6
	3. その他	9
19年度	1. 一身上の理由	4
	2. 進路変更	11
	3. その他	15
20年度	1. 一身上の理由	5
	2. 進路変更	7
	3. その他	12

【進学状況】20年度卒業生

進学先	人数	進学先	人数	進学先	人数
国立大学		私立大学		私立短期大学	
神戸大学	1	大阪芸術大学	7	大阪音楽大学短期大学部	2
帝塚山学院大学	1	京都精華大学	5	常盤会短期大学	1
早稲田大学	22	京都造形芸術大学	3	白鳳女子短期大学	2
慶應義塾大学	2	神戸芸術工科大学	4	武庫川女子大学短期大学部	1
明治大学	1	成安造形大学	1	関西外国語大学短期大学部	2
青山学院大学	1	宝塚造形芸術大学	1	関西女子短期大学	1
立教大学	1	関西外国語大学	7	夙川学院短期大学	1
関西学院大学	12	追手門学院大学	2	芦屋女子短期大学	1
関西大学	12	大阪学院大学	2	大阪成蹊短期大学	1
同志社大学	3	大阪経済法科大学	1	大阪大谷大学短期大学部	1
立命館大学	2	大阪総合保育大学	2	小計	13
近畿大学	6	京都橘大学	1	堺歯科衛生士専門学校	1
甲南大学	4	桃山学院大学	3	avex artist academy	1
京都女子大学	2	天理大学	1	大阪医療技術学園専門学校	1
神戸女子学院大学	19	関西福祉科学大学	1	小計	3
神戸女子大学	1	関西医療看護大学	1	未定(浪人を含む)	7
同志社女子大学	5	昭和音楽大学	1	総計	191
武庫川女子大学	2	千里金蘭大学	3		
大阪大谷大学	2	創価大学	1		
大阪女子学院大学	1	大成学院大学	1		
甲南女子大学	9	小計	167		
神戸松蔭女子学院大学	3				
神戸薬科大学	1				
摂南大学	2				
大阪音楽大学	3				
相愛大学	1				

帝塚山学院中学校 入試・在籍・退学・進学状況

【入試状況】 一次・二次の計

平成	新1年						募集定員	定員充足率 %
	志願者		合格者		入学者			
	内部	外部	内部	外部	内部	外部		
17年度	51	162	213	51	104	155	200	69.5
18年度	48	178	226	46	139	185	200	80.0
19年度	61	258	319	61	176	237	200	100.5
20年度	59	306	365	58	211	269	200	110.0
21年度	53	267	320	53	198	251	200	107.0

【在籍状況】

平成	1年		2年		3年		合計
	女	子	女	子	女	子	
17年度	139	139	158	158	194	194	491
18年度	160	160	139	139	158	158	457
19年度	201	201	159	159	137	137	497
20年度	220	220	199	199	153	153	572
21年度	214	214	215	215	198	198	627

【退学状況】

平成	異動理由	人数
18年度	1. 一身上の理由	3
	2. 進路変更	4
	3. 住所変更	1
19年度	1. 一身上の理由	9
	2. 進路変更	1
	3. 住所変更	2
20年度	1. 一身上の理由	4
	2. 進路変更	2
	3. 住所変更	6

【進学状況】20年度卒業生

進学先	人数
私立高等学校	144
帝塚山学院	1
桃山学院	1
京都外大西	1
城星	1
東邦	1
岡山白陵	1
私立高等学校小計	149
公立高等学校	2
府立咲洲	2
未定	2
総計	153

帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 入試・在園・退園・進学状況

【入試状況】

	新1年										入学定員	定員充足率
	志願者					合格者						
	内部		外部		計	内部		外部		計		
17年度	146	258	404	146	249	395	146	117	263	280	93.9%	
18年度	154	219	373	154	215	369	153	103	256	280	91.4%	
19年度	133	318	451	133	299	432	133	141	274	280	97.9%	
20年度	155	220	375	155	217	372	155	92	247	280	88.2%	
21年度	150	330	480	150	320	470	149	93	242	280	86.4%	

【在籍状況】(5月1日現在)

	1年	2年	3年	計
17年度	男 131	122	141	394
	女 133	122	120	375
	計 264	244	261	769
18年度	男 121	130	119	370
	女 137	132	118	387
	計 258	262	237	757
19年度	男 137	119	129	385
	女 137	133	130	400
	計 274	252	259	785
20年度	男 125	136	118	379
	女 122	134	132	388
	計 247	270	250	767
21年度	男 126	124	133	383
	女 116	119	134	369
	計 242	243	267	752

【退学状況】

異動理由	18年度	19年度	20年度	計
1. 一身上の理由	3名		3名	6名
2. 進路変更	2名	4名	2名	8名
1. 一身上の理由		2名	3名	5名
2. 進路変更		2名	4名	6名
1. 一身上の理由			3名	3名
2. 進路変更			4名	4名

帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 入試・在園・退園・進学状況

【進学状況】（合格者数）20年度卒業生

	現役	浪人	計
【国立】			
京都	1		1
大阪	6	4	10
神戸	9		9
北海道	2	1	3
京都工芸繊維		1	1
奈良女子	2		2
和歌山	8	1	9
大阪教育	4	1	5
滋賀	1		1
北海道教育	1		1
北見工業	2		2
宮城教育	1		1
豊橋技術科学	1		1
三重	1		1
鳥取	1		1
岡山	1	1	2
広島	1		1
徳島	1		1
鹿児島	1		1
琉球	1		1
国立大学 計	43	11	54
【公立】			
大阪市立	2	1	3
大阪府立	5	3	8
京都府立医科		2	2
奈良県立医科	1		1
和歌山県立医科	4		4
兵庫県立	4	1	5
奈良県立	1		1
滋賀県立	1		1
名古屋市立	1	2	3
高崎経済		1	1

	現役	浪人	計
福井県立	1		1
石川県立	1		1
岡山県立	2		2
広島市立	1		1
県立広島	1		1
北九州市立	1	1	2
九州歯科	1	1	2
防衛医科	1		1
防衛	16		16
航空保安	1		1
水産	1	2	3
公立大学 計	45	14	59
【私立】			
早稲田	2	2	4
慶応義塾	4		4
上智	1	1	2
中央	4		4
明治	1		1
立教	2		2
青山学院		2	2
東京理科	2	3	5
同志社	22	12	34
立命館	25	12	37
関西学院	18	4	22
関西	48	12	60
帝塚山学院	2		2
近畿	57	20	77
甲南	4	4	8
龍谷	4	5	9
京都産業	4		4
同志社女子	9	3	12
京都女子	2	3	5
神戸女学院	9		9

	現役	浪人	計
武庫川女子	15		15
日本医科		1	1
大阪医科		1	1
関西医科	1		1
兵庫医科	2	3	5
川崎医科	1	2	3
愛知医科	1	1	2
金沢医科		2	2
獨協医科		1	1
聖マリアンナ医科		1	1
大阪歯科	3		3
朝日		1	1
京都薬科	4	1	5
大阪薬科	6	3	9
神戸薬科	6	2	8
京都外国語	3		3
京都精華	1		1
京都橘	1		1
大阪音楽		1	1
大阪経済	1	3	4
大阪芸術	3		3
大阪工業	6		6
大阪産業	1		1
大阪電気通信	1		1
大阪大谷	7	2	9
関西外国語	5		5
摂南	4	4	8
甲南女子	2	1	3
神戸学院		1	1
神戸松蔭女子学院	1		1
姫路独協	1	2	3
畿央	2	1	3
藍野	1		1
大阪川崎カトリック	1		1

	現役	浪人	計
関西医療	2		2
近大姫路		1	1
兵庫医療	3	1	4
酪農学園		2	2
奥羽	1		1
成蹊	2		2
大正	1		1
東京女子		1	1
東京電機	2		2
日本女子		1	1
文化女子	1		1
東京医療保健	1		1
岐阜医療科学	1		1
南山	1		1
東邦		1	1
高知工科	1		1
立命館アジア太平洋	1		1
私立大学 計	317	124	441
【短期大学】			
京都女子短期	1		1
関西外国語短期	1		1
フェリス学院女子短期	1		1
武庫川女子短期	1		1
大阪千代田短期	1		1
関西女子短期	1		1
米沢女子短期	1		1
国立清水海上技術	1		1
大阪医療秘書福祉専門	1		1
短期大学 計	9	0	9
総計	414	149	563

帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 入試・在園・退園・進学状況

【進学状況】（進学者数）20年度卒業生

	現役	浪人	計
【国立】			
京都	1		1
大阪	6	4	10
神戸	9		9
北海道	2		2
京都工芸繊維			0
奈良女子	2		2
和歌山	8	1	9
大阪教育	4	1	5
滋賀	1		1
北海道教育	1		1
北原工業	1		1
宮城教育	1		1
豊橋技術科学	1		1
三重	1		1
鳥取	1		1
岡山	1		1
広島	1		1
徳島		1	1
鹿児島		1	1
琉球	1		1
国立大学 計	42	8	50
【公立】			
大阪市立	2	1	3
大阪府立	4	1	5
京都府立医科		1	1
奈良県立医科	1		1
和歌山県立医科	3		3
兵庫県立	4	1	5
奈良県立			0
滋賀県立	1		1
名古屋市立	1	2	3
高崎経済		1	1

	現役	浪人	計
福井県立	1		1
石川県立	1		1
岡山県立	1		1
広島市立	1		1
県立広島	1		1
北九州市立			0
九州歯科	1		1
防衛医科			0
防衛	2		2
航空保安			0
水産	1	1	2
公立大学 計	25	8	33
【私立】			
早稲田	1	1	2
慶応義塾	1		1
上智	1	1	2
中央	4		4
明治			0
立教	1		1
青山学院			0
東京理科			0
同志社	6	1	7
立命館	16	1	17
関西学院	7	1	8
関西	16	2	18
帝塚山学院	2		2
近畿	14	2	16
甲南	3	1	4
龍谷	3	1	4
京都産業			0
同志社女子	7		7
京都女子	1	1	2
神戸女子学院	6		6

	現役	浪人	計
武庫川女子	3		3
日本医科		1	1
大阪医科			0
関西医科	1		1
兵庫医科		1	1
川崎医科	1		1
愛知医科	1		1
金沢医科			0
獨協医科			0
聖マリアナ医科			0
大阪歯科	1		1
朝日			0
京都薬科	2		2
大阪薬科	2	1	3
神戸薬科	2		2
京都外国語	1		1
京都精華	1		1
京都橘	1		1
大阪音楽			0
大阪経済	1	2	3
大阪芸術			0
大阪工業	2		2
大阪産業			0
大阪電気通信			0
大阪大谷	2	1	3
関西外国語	3		3
摂南			0
甲南女子	1		1
神戸学院			0
神戸松蔭女子学院			0
姫路独協	1		1
畿央			0
藍野	1		1
大阪川崎リハビリテーション	1		1

	現役	浪人	計
関西医療	2		2
近大姫路		1	1
兵庫医療	3		4
酪農学園		1	1
奥羽	1		1
成蹊			0
大正	1		1
東京女子			0
東京電機	2		2
日本女子			0
文化女子	1		1
東京医療保健			0
岐阜医療科学			0
南山	1		1
東邦			0
高知工科			0
立命館アジア太平洋			0
私立大学 計	128	21	149
【短期大学】			
京都女子短期	1		1
関西外国語短期	1		1
フェリス学院女子短期			0
武庫川女子短期			0
大阪千代田短期	1		1
関西女子短期	1		1
米沢女子短期	1		1
国立清水海上技術			0
大阪医療秘書福祉専門	1		1
短期大学 計	6	0	6
総計	201	37	238

\*21年3月卒業生250名の内、201名が進学し、残る49名は浪人生として来年を期す。

帝塚山学院泉ヶ丘中学校 入試・在園・退園・進学状況

【入試状況】

	新 1 年			入学定員	定員充足率
	志願者	合格者	入学者		
17年度	334	218	159	160	99.4%
18年度	399	230	159	160	99.4%
19年度	533	237	161	160	100.6%
20年度	415	221	141	160	88.1%
21年度	393	242	144	160	90.0%

【在籍状況】(5月1日現在)

	1年			2年			3年			計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
17年度	74	85	159	59	86	145	74	87	161	207
18年度	81	78	159	73	85	158	58	83	141	212
19年度	82	79	161	80	76	156	73	85	158	235
20年度	64	77	141	82	78	160	79	75	154	225
21年度	71	73	144	64	77	141	80	77	157	215
	71	73	144	64	77	141	80	77	157	227
	141	144	285	144	141	285	157	142	300	442

【退学状況】

異動理由	18年度		19年度		20年度		計
	1. 一身上の理由	2. 進路変更	1. 一身上の理由	2. 進路変更	1. 一身上の理由	2. 進路変更	
	2名	1名	2名	2名	4名	0名	3名
							4名
							4名

4) 進学先

1. 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	149名
2. 清明高等学校	1名
3. 初芝立命館高等学校	1名
4. 長尾谷高等学校	1名
5. 日生学園第2高等学校	1名
6. 天王寺学園高等学校	1名

帝塚山学院小学校 入試・在籍・退学・進学・進学状況

【入試状況】

平成	新1年										募集定員	定員充足率 %		
	志願者					合格者							入学者	
	内部		外部		計	内部		外部		計			内部	外部
17年度	62	73	135	62	80	142	62	64	126	126	126	100.0		
18年度	60	129	189	59	88	147	57	60	117	126	126	92.9		
19年度	49	163	212	49	98	147	48	77	125	126	126	99.2		
20年度	52	160	212	52	97	149	51	69	120	126	126	95.2		
21年度	56	153	209	56	71	127	56	58	114	114	114	100.0		

【在籍状況】

平成	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
17年度	42	83	125	36	90	126	38	88	126	37	89	126	37	91	128	227	530	757
18年度	35	82	117	42	84	126	36	90	126	38	87	125	37	89	126	225	521	746
19年度	40	85	125	36	84	120	41	84	125	36	90	126	38	88	125	228	519	747
20年度	37	83	120	40	86	126	37	85	122	41	85	126	35	91	126	227	518	745
21年度	36	78	114	36	84	120	40	86	126	40	85	125	40	86	126	226	509	735

【退学状況】

平成	異動理由	人数
18年度	1. 一身上の理由	2
	2. 留学	1
	3. 住所変更	1
19年度	1. 一身上の理由	2
	2. 留学	2
	3. 住所変更	2
20年度	1. 一身上の理由	3
	2. 留学	2
	3. 住所変更	2

【進学状況】20年度卒業生

進 学 先	人 数		
	男子	女子	計
私立中学校			
帝塚山学院	8	53	53
帝塚山学院泉ヶ丘	7	15	15
学院小計	8	60	68

私立中学校			
灘	1		1
西大和	1		1
東大寺	1		1
星光	3		3
洛南	1		1
洛星	1		1
明星	1		1
同志社香里	2	2	4
同志社		1	1
清風南海	3		3
清風	2		2
大阪学芸		1	1
大阪女学院		1	1
追手門学院	1		1
上宮	1		1
初志立命館	1		1
四天王寺		3	3
浪速	1		1
清教学園		1	1
桃山学院	2		3
開明	1		2
堺リベラル		1	1

進 学 先	人 数		
	男子	女子	計
相愛		1	1
大谷		3	3
関大	1		1
ブール学院		1	1
帝塚山	2	4	6
神戸女学院		1	1
芦屋大学附属	1		1
和歌山信愛附属		1	1
海陽学園(愛知)	1		1
八雲学園(東京)		1	1
学院外 私立小計	28	24	52

公立中学校	1	2	3
未 定		2	2

総 計	37	88	125
-----	----	----	-----

帝塚山学院幼稚園 入試・在園・退園・進学状況

【入試状況】

平成	年少（3年保育）		募集定員	定員充足率 %	年中（2年保育）		年長（1年保育）			
	志願者数	合格者数			入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数
17	33	20	20	100.0	29	26	26			
18	54	48	48	100.0	30	30	30	6	4	4
19	51	48	48	100.0	9	8	8	4	2	2
20	55	48	48	100.0	9	9	9	5	1	1
21	54	48	48	100.0	5	5	5	3	3	3

【在園状況】

平成	年少			年中			年長			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
17年度	5	15	20	12	34	46	17	45	62	34	94	128
18年度	15	33	48	16	34	50	11	38	49	42	105	147
19年度	12	35	47	17	38	55	16	36	52	45	109	154
20年度	11	37	48	14	41	55	18	38	56	43	116	159
21年度	6	42	48	12	41	53	14	41	55	32	124	156

【退学状況】

平成	異動理由	人数
18年度		
19年度	1. 一身上の理由	1
	2. 住所変更	1
20年度	1. 一身上の理由	1
	2. 住所変更	1

【進学状況】20年度卒園生

進学先	人数		
	男子	女子	計
私立小学校	18	37	55
公立小学校		1	1
総計	18	38	56

### 3 財務の概要

#### I 平成20年度決算の概要

平成20年度決算について、財産目録、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表を別掲していますが、決算の概要を前年度決算との対比で以下の通りご説明します。

##### 1 消費収入について

###### (1) 学生生徒等納付金

前年度に比べ、41,178千円の増収となった。法人全体の学生生徒等数は、61名の増加となったが、主には人間文化学部(平成21年度より人間科学部へ名称変更)食物栄養学科が年次進行にあることや住吉中学校高等学校の入学者の増によるものです。

###### (2) 寄付金

教育後援会からの寄付金が増えたことにより対前年度48,523千円の増収となりました。

###### (3) 補助金

大学に対しての国庫経常費補助金は、「定員割れ改善促進特別支援経費」が採択されたことにより、総額は対前年度20,084千円の増収となりました。また文部科学省の施設・設備の整備に対しての補助金として、大学狭山キャンパスB、C、D棟耐震改修事業や泉ヶ丘中・高校バリアフリー化に伴うエレベータ設置及び住吉中・高校パソコン教室機種更新に対して合計81,533千円の収入がありました。一方高等学校以下の大阪府経常費補助金は、大阪府の私学助成削減政策により85,713千円の減収となりました。

###### (4) 事業収入

今年度より小学校及び幼稚園の給食費収入を学校会計へ計上したことにより対前年度32,921千円の増収となりました。

###### (5) 雑収入

私立大学退職金財団や大阪府私立学校退職金財団からの交付金が主なものです。前年度14名に対して今年度は12名の退職者があったが、勤続年数の短い定年外退職者が多いため、雑収入は73,555千円の減収となりました。

###### (6) 基本金組入額

平成20年度の総収入から控除する基本金は、大学狭山キャンパスB、C、D棟耐震改修及びC棟大規模改修工事や住吉キャンパス第二体育館改修工事等自己資金による固定資産の取得があったため、第1号基本金が115,190千円増額となりました。

##### 2 消費支出について

###### (1) 人件費

平成20年4月からの「新給与体系導入」について教職員組合との間に暫定的合意が得られたので、実施した平均5%の給与カットにより、教員、職員人件費支出は、98,003千円の減額となりました。また退職金については、勤続年数の長い定年退職者が少なかったため98,308千円の減額となりました。その結果人件費比率(人件費/帰属収入)は、67.9%から64.2%に3.7%低下しました。

###### (2) 教育研究経費

前年度に対して減価償却額の減少があったものの、教育研究経費は教育後援会からの寄付金に伴う支出や給食事業に伴う支出が発生したこと及び大学狭山キャンパス⇄泉ヶ丘

キャンパス間のにシャトルバス運行により89,515千円増額となりました。

(3) 管理経費

管理経費は経費節減に努めましたが、各部の学生・生徒等募集活動の強化により9,002千円の増額となりました。

(4) 借入金等利息

日本私立学校振興・共済事業団及び三菱東京UFJ銀行からの借入金に対する利息支出です。

(5) 資産処分差額

今年度の資産処分差額は大学両キャンパス図書館や泉ヶ丘中・高図書館における図書の整理によるものです。

以上により、平成20年度の消費収支差額は、228,077千円の支出超過となりました。前年度繰越支出超過額7,640,634千円と機器備品の除却による基本金取崩額20,496千円を含めると次年度に7,848,214千円の翌年度繰越支出超過額となりました。ただ企業会計でいう収益から費用を差し引いた利益に相当する帰属収支差額(帰属収入－消費支出)は、19年度に対して201,922千円増収の350,249千円の黒字を計上することができました。しかしながら本学院の財政は財政基盤の確立から、なおほど遠い状態にありますので、平成21年度以降も教育水準を落とすことなく、教職員の意識改革と行動改革をスピードアップし、より一層の財務の健全化に努めて参る所存であります。

# (1)平成20年度財産目録

## 財 産 目 録

平成21年3月31日現在

I 資産総額	24,194,487,343 円
うち 基本財産	21,615,316,190 円
運用財産	2,554,911,638 円
収益事業用財産	24,259,515 円
II 負債総額	4,570,950,170 円
III 正味財産	19,623,537,173 円

区 分	金 額
I 資産額	
(一)基本財産	21,615,316,190 円
1 土地	152,991.09 m <sup>2</sup> 3,017,378,544 円
2 建物	83,241.80 m <sup>2</sup> 13,203,937,871 円
附属建物	48.27 m <sup>2</sup> 3,172,283 円
構築物	152,566,820 円
3 図書	637,848 冊 2,498,831,545 円
4 教具・校具・備品	16,819 点 454,118,586 円
5 その他	2,285,310,541 円
(二)運用財産	2,554,911,638 円
1 現金、預金	2,257,484,395 円
2 有価証券	111,783,577 円
3 その他	185,643,666 円
(三)収益事業用財産	24,259,515 円
1 預金	24,259,515 円
合 計	24,194,487,343 円
II 負債額	
(一)固定負債	3,270,269,432 円
1 長期借入金	1,740,270,000 円
2 学校債	570,600,000 円
3 引当金	959,399,432 円
(二)流動負債	1,299,811,438 円
1 短期借入金	440,590,000 円
2 未払金	204,984,094 円
3 前受金	477,892,500 円
4 その他	176,344,844 円
(三)収益事業用負債	869,300 円
1 未払法人税等	869,300 円
合 計	4,570,950,170 円
正味財産(資産総額－負債総額)	19,623,537,173 円

## (2)平成20年度資金収支計算書

### 資金収支計算書

平成20年 4月 1日から  
平成21年 3月31日まで

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,489,527,700	4,491,809,000	△ 2,281,300
手数料収入	69,889,936	65,447,391	4,442,545
寄付金収入	145,198,000	150,416,935	△ 5,218,935
補助金収入	958,943,303	1,074,296,333	△ 115,353,030
資産運用収入	30,849,150	33,098,447	△ 2,249,297
資産売却収入	1,160,189,469	3,058,988,840	△ 1,898,799,371
事業収入	47,699,000	44,957,700	2,741,300
雑収入	81,160,287	95,470,502	△ 14,310,215
借入金等収入	129,600,000	129,600,000	0
前受金収入	457,125,000	477,892,500	△ 20,767,500
その他の収入	1,581,576,208	1,602,604,508	△ 21,028,300
資金収入調整勘定	△ 529,907,268	△ 640,324,850	110,417,582
前年度繰越支払資金	2,314,533,187	2,314,533,187	0
収入の部合計	10,936,383,972	12,898,790,493	△ 1,962,406,521
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,726,490,205	3,796,027,390	△ 69,537,185
教育研究経費支出	853,593,785	802,524,508	51,069,277
管理経費支出	274,043,759	267,512,935	6,530,824
借入金等利息支出	51,305,085	51,312,352	△ 7,267
借入金等返済支出	445,390,000	454,590,000	△ 9,200,000
施設関係支出	305,717,345	307,502,345	△ 1,785,000
設備関係支出	92,830,679	90,791,990	2,038,689
資産運用支出	2,659,716,703	4,658,694,388	△ 1,998,977,685
その他の支出	416,790,146	417,334,284	△ 544,138
[予備費]	100,000,000	0	100,000,000
資金支出調整勘定	△ 132,238,745	△ 204,984,094	72,745,349
次年度繰越支払資金	2,142,745,010	2,257,484,395	△ 114,739,385
支出の部合計	10,936,383,972	12,898,790,493	△ 1,962,406,521

### (3)平成20年度消費収支計算書

#### 消費収支計算書

平成20年 4月 1日から  
平成21年 3月31日まで

(単位:円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	4,489,527,700	4,491,809,000	△ 2,281,300
手数料	69,889,936	65,447,391	4,442,545
寄付金	145,198,000	158,847,217	△ 13,649,217
補助金	958,943,303	1,074,296,333	△ 115,353,030
資産運用収入	30,849,150	33,098,447	△ 2,249,297
資産売却差額	2,000,000	2,566,481	△ 566,481
事業収入	47,699,000	44,957,700	2,741,300
雑収入	81,160,287	95,470,502	△ 14,310,215
帰属収入合計	5,825,267,376	5,966,493,071	△ 141,225,695
基本金組入額合計	△ 573,404,261	△ 578,327,278	4,923,017
消費収入の部合計	5,251,863,115	5,388,165,793	△ 136,302,678
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,730,217,716	3,829,481,070	△ 99,263,354
教育研究経費	1,482,432,715	1,430,677,998	51,754,717
管理経費	308,428,490	301,897,666	6,530,824
借入金等利息	51,305,085	51,312,352	△ 7,267
資産処分差額	0	2,314,140	△ 2,314,140
徴収不能額	0	560,000	△ 560,000
予備費	100,000,000	0	100,000,000
消費支出の部合計	5,672,384,006	5,616,243,226	56,140,780
当年度消費支出超過額	△ 420,520,891	△ 228,077,433	
前年度繰越消費支出超過額	△ 7,640,634,055	△ 7,640,634,055	
基本金取崩額	20,938,410	20,496,884	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 8,040,216,536	△ 7,848,214,604	

## (4)平成20年度貸借対照表

## 貸借対照表

平成21年 3月31日

(単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	21,615,316,190	21,673,598,134	△ 58,281,944
有形固定資産	19,330,005,650	19,588,133,394	△ 258,127,744
土地	3,017,378,544	3,017,378,544	0
建物	13,207,110,154	13,408,684,295	△ 201,574,141
構築物	152,566,820	160,050,313	△ 7,483,493
教育研究用機器備品	425,739,286	509,152,165	△ 83,412,879
図書	2,498,831,545	2,460,730,410	38,101,135
その他の有形固定資産	28,379,301	32,137,667	△ 3,758,366
その他の固定資産	2,285,310,540	2,085,464,740	199,845,800
特定資産	2,274,370,000	2,074,524,200	199,845,800
その他	10,940,540	10,940,540	0
流動資産	2,554,911,638	2,612,115,661	△ 57,204,023
現金預金	2,257,484,395	2,314,533,187	△ 57,048,792
有価証券	111,783,577	111,249,145	534,432
その他の流動資産	185,643,666	186,333,329	△ 689,663
資産の部合計	24,170,227,828	24,285,713,795	△ 115,485,967
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	3,270,269,432	3,564,805,752	△ 294,536,320
長期借入金	1,740,270,000	2,071,660,000	△ 331,390,000
学校債	570,600,000	567,200,000	3,400,000
退職給与引当金	957,149,432	923,695,752	33,453,680
徴収不能引当金	2,250,000	2,250,000	0
流動負債	1,299,811,438	1,470,910,930	△ 171,099,492
短期借入金	331,390,000	331,390,000	0
学校債	109,200,000	106,200,000	3,000,000
前受金	477,892,500	457,485,000	20,407,500
その他の流動負債	381,328,938	575,835,930	△ 194,506,992
負債の部合計	4,570,080,870	5,035,716,682	△ 465,635,812
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	26,881,991,562	26,324,161,168	557,830,394
第3号基本金	124,370,000	124,370,000	0
第4号基本金	442,000,000	442,000,000	0
基本金の部合計	27,448,361,562	26,890,531,168	557,830,394
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 7,848,214,604	△ 7,640,534,055	△ 207,680,549
消費収支差額の部合計	△ 7,848,214,604	△ 7,640,534,055	△ 207,680,549
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	24,170,227,828	24,285,713,795	△ 115,485,967

## (5) 監査報告書

学校法人 帝塚山学院

理事長 石川 啓 殿

平成21年5月13日

学校法人 帝塚山学院

監事 三木 二良 ㊞

監事 山根 敬介 ㊞

私たちは、学校法人帝塚山学院の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学院の平成20年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)における学校会計の計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表)及び収益事業会計の決算書類並びに理事の業務執行状況について監査を行いました。

### 記

1. 会計監査について、栄監査法人・代表社員、公認会計士國分紀一氏の監査結果を援用する。
2. 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する事実のないことを確認いたします。

## (6) 収益事業

### 収益事業損益計算書

自 平成20年4月 1日

至 平成21年3月31日

(単位:円)

経 常 損 益 の 部	
I 営業損益の部	
1. 受取割戻金	5,027,669
2. 販売費及び一般管理費	5,060,300
営業利益	<u>△ 32,631</u>
II 営業外損益の部	
1. 営業外損益	
雑収入	898,279
経常利益	<u>898,279</u>
特別損益の部	
1. 特別利益	0
2. 特別損失	0
税引前当期利益金	<u>865,648</u>
法人税等	600,000
当期利益金	<u>265,648</u>
前期繰越利益金	19,624,567
当期末処分利益金	<u><u>19,890,215</u></u>

## 収益事業貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>24,259,515</b>	<b>流動負債</b>	<b>869,300</b>
預 金	24,259,515	未払法人税等	869,300
		<b>剰 余 金</b>	<b>23,390,215</b>
		積 立 金	3,500,000
		当期未処分利益金	19,890,215
		(内当期利益金)	(265,648)
<b>合 計</b>	<b>24,259,515</b>	<b>合 計</b>	<b>24,259,515</b>

## Ⅱ 経年比較

### (1) 資金収支の推移(平成16年度～平成20年度)

(単位:千円)

科 目		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	4,346,109	4,273,371	4,305,672	4,450,631	4,491,809
	手数料収入	67,687	70,965	74,558	69,188	65,447
	寄付金収入	86,499	65,523	89,586	103,304	150,417
	補助金収入	1,175,226	1,125,013	1,044,890	1,073,729	1,074,296
	資産運用収入	17,104	18,224	21,977	30,081	33,098
	資産売却収入	2,150,302	2,049,558	1,498,636	2,396,179	3,058,989
	事業収入	9,709	9,695	11,231	12,036	44,958
	雑収入	150,869	200,859	157,521	169,026	95,471
	借入金等収入	114,700	618,500	113,200	133,300	129,600
	前受金収入	398,915	431,025	467,105	457,485	477,893
	その他の収入	789,065	772,226	521,627	1,262,150	1,602,605
	資金収入調整勘定	△ 561,081	△ 590,537	△ 599,188	△ 650,960	△ 640,325
	前年度繰越支払資金	1,659,560	1,744,950	2,015,659	2,167,629	2,314,533
	収入の部合計	10,404,664	10,789,372	9,722,474	11,673,778	12,898,791
支 出 の 部	人件費支出	4,029,747	4,124,120	4,072,665	4,040,099	3,796,027
	教育研究経費支出	704,708	709,795	747,260	722,029	802,525
	管理経費支出	196,938	278,281	244,855	258,511	267,513
	借入金等利息支出	71,010	65,585	63,795	58,594	51,312
	借入金等返済支出	419,990	405,890	483,590	485,990	454,590
	施設関係支出	33,805	1,257,123	75,438	8,374	307,502
	設備関係支出	106,005	232,564	83,595	79,633	90,792
	資産運用支出	2,733,160	1,758,035	1,872,303	3,588,342	4,658,694
	その他の支出	723,849	370,843	430,678	534,463	417,334
	資金支出調整勘定	△ 359,499	△ 428,521	△ 519,331	△ 416,790	△ 204,984
	次年度繰越支払資金	1,744,950	2,015,659	2,167,629	2,314,533	2,257,484
支出の部合計	10,404,663	10,789,374	9,722,477	11,673,778	12,898,789	

## (2)消費収支の推移(平成16年度～平成20年度)

(単位:千円)

科 目		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
消費 収入 の 部	学生生徒等納付金(ア)	4,346,109	4,273,371	4,305,672	4,450,631	4,491,809
	手 数 料	67,687	70,965	74,558	69,188	65,447
	寄 付 金 ( イ )	97,042	76,076	103,183	110,324	158,847
	補 助 金 ( ウ )	1,175,226	1,125,013	1,044,890	1,073,729	1,074,296
	資 産 運 用 収 入	17,104	18,224	21,977	30,081	33,098
	資 産 売 却 差 額 ( エ )	0	0	0	0	2,566
	事 業 収 入	9,709	9,695	11,231	12,036	44,958
	雑 収 入	150,869	200,859	157,521	169,026	95,471
	合 計 ( オ )	5,863,746	5,774,203	5,719,032	5,915,015	5,966,492
	基本金組入額(カ)	△ 443,645	△ 709,230	△ 445,389	△ 463,137	△ 578,327
消費収入(オ+カ)(キ)	5,420,101	5,064,973	5,273,643	5,451,878	5,388,165	
消費 支出 の 部	人 件 費 ( ク )	4,022,304	4,098,320	4,014,249	4,014,871	3,829,481
	教 育 研 究 経 費 ( ケ )	1,351,775	1,355,765	1,429,287	1,384,158	1,430,678
	うち、減価償却	648,475	646,952	682,570	662,833	628,839
	管 理 経 費 ( コ )	235,226	316,392	282,648	295,169	301,898
	うち、減価償却	38,287	38,111	37,793	36,659	34,385
	借 入 金 等 利 息 ( サ )	71,010	65,585	63,795	58,594	51,312
	資 産 処 分 差 額 ( シ )	2,863	22,122	4,884	5,716	2,314
	徴収不能引当金繰入額(ス)	5,625	5,625	0	2,250	0
	徴 収 不 能 額 ( ス )	289	0	280	5,928	560
	消費支出の部合計(セ)	5,689,092	5,863,809	5,795,143	5,766,686	5,616,243
当年度消費支出超過額(キ-セ)	△ 268,991	△ 798,836	△ 521,500	△ 314,808	△ 228,078	
前年度繰越消費支出超過額	△ 5,859,594	△ 6,128,585	△ 6,871,457	△ 7,332,110	△ 7,640,634	
基本金取崩額	0	55,963	60,845	6,285	20,497	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 6,128,585	△ 6,871,458	△ 7,332,112	△ 7,640,633	△ 7,848,215	
帰属収支差額(オ)-(セ)	174,654	△ 89,606	△ 76,111	148,329	350,249	
[(オ)-(イ)-(エ)]-[(セ)-(シ)-(ス)]	86,389	△ 137,935	△ 174,130	51,899	191,710	

# 平成11年度～平成20年度年度別消費収支計算書推移表

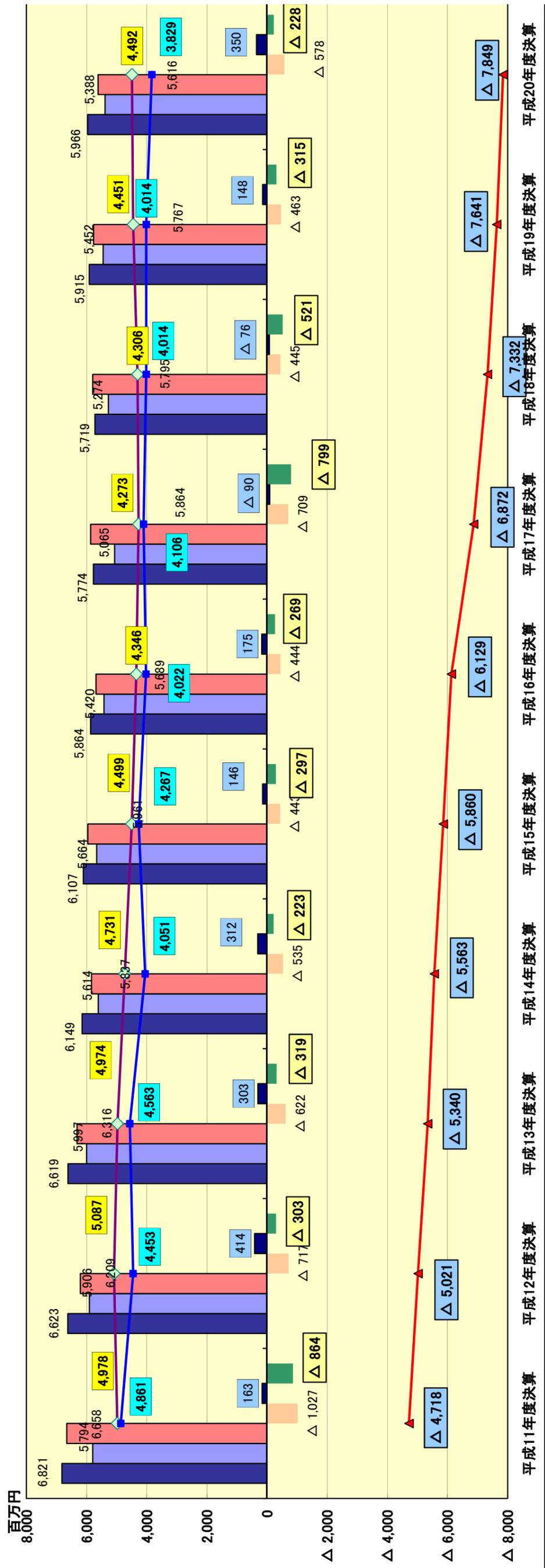
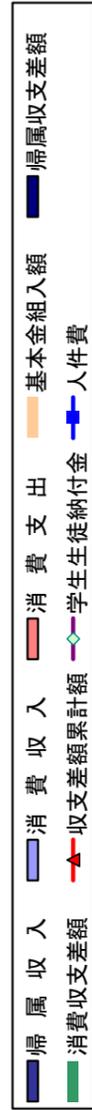
## <消費収支計算>

(単位:百万円)

項目	平成11年度決算	平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度決算	平成20年度決算
帰属収入	6,821	6,623	6,619	6,149	6,107	5,864	5,774	5,719	5,915	5,966
学生生徒納付金	4,978	5,087	4,974	4,731	4,499	4,346	4,273	4,306	4,451	4,492
消費収入	5,794	5,906	5,997	5,614	5,664	5,420	5,065	5,274	5,452	5,388
消費支出	6,658	6,209	6,316	5,837	5,961	5,689	5,864	5,795	5,767	5,616
人件費	4,861	4,453	4,563	4,051	4,267	4,022	4,106	4,014	4,014	3,829
帰属収支差額	163	414	303	312	146	175	△ 90	△ 76	148	350
基本金組入額	△ 1,027	△ 717	△ 622	△ 535	△ 443	△ 444	△ 709	△ 445	△ 463	△ 578
基本金取崩額							56	61	6	20
消費収支差額	△ 864	△ 303	△ 319	△ 223	△ 297	△ 269	△ 799	△ 521	△ 315	△ 228
収支差額累計額	△ 4,718	△ 5,021	△ 5,340	△ 5,563	△ 5,860	△ 6,129	△ 6,872	△ 7,332	△ 7,641	△ 7,849

## <消費収支計算時系列グラフ>

消費収支計算書推移表



## (3)貸借対照表の推移(平成16年度～平成20年度)

(単位:千円)

資 産 の 部					
科 目	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
<b>固 定 資 産 ( a )</b>	<b>22,189,381</b>	<b>22,652,916</b>	<b>22,199,355</b>	<b>21,673,498</b>	<b>21,615,317</b>
有 形 固 定 資 産	19,950,869	20,749,685	20,197,611	19,588,133	19,330,006
うち、土地	3,015,305	3,015,305	3,015,305	3,017,379	3,017,379
うち、建物	13,601,407	14,369,039	13,909,077	13,408,684	13,207,110
うち、構築物	221,212	199,633	182,423	160,050	152,567
うち、教育研究用機器備品	716,272	741,579	629,880	509,152	425,739
その他の有形固定資産	2,396,673	2,424,129	2,460,926	2,492,868	2,527,211
そ の 他 の 固 定 資 産	2,238,512	1,903,231	2,001,744	2,085,365	2,285,311
うち、特定引当資産	2,215,721	1,874,370	1,974,370	2,074,424	2,274,370
そ の 他	22,791	28,861	27,374	10,941	10,941
<b>流 動 資 産 ( b )</b>	<b>2,568,570</b>	<b>2,323,933</b>	<b>2,454,617</b>	<b>2,612,116</b>	<b>2,554,912</b>
うち、現金・預金 ( c )	1,744,950	2,015,659	2,167,629	2,314,533	2,257,484
うち、有価証券	660,270	110,402	110,676	111,249	111,784
そ の 他	163,350	197,872	176,312	186,334	185,644
<b>合 計 ( d )</b>	<b>24,757,951</b>	<b>24,976,849</b>	<b>24,653,972</b>	<b>24,285,614</b>	<b>24,170,229</b>
負債・基本金及び消費収支差額の部					
科 目	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
<b>負 債 ( e )</b>	<b>5,490,669</b>	<b>5,799,170</b>	<b>5,552,402</b>	<b>5,035,717</b>	<b>4,570,080</b>
<b>固 定 負 債 ( f )</b>	<b>4,246,773</b>	<b>4,364,605</b>	<b>3,930,999</b>	<b>3,564,806</b>	<b>3,270,269</b>
うち、長期借入金	2,565,830	2,734,440	2,403,050	2,071,660	1,740,270
うち、学校債	639,703	609,100	565,300	567,200	570,600
うち、退職給与引当金	1,033,140	1,007,340	948,924	923,696	957,149
そ の 他	8,100	13,725	13,725	2,250	2,250
<b>流 動 負 債 ( g )</b>	<b>1,243,896</b>	<b>1,434,565</b>	<b>1,621,403</b>	<b>1,470,911</b>	<b>1,299,811</b>
うち、短期借入金	231,390	331,390	331,390	331,390	331,390
うち、前受金 ( h )	398,915	431,025	467,105	457,485	477,893
そ の 他	613,591	672,150	822,908	682,036	490,528
<b>基 本 金 ( i )</b>	<b>25,395,868</b>	<b>26,049,136</b>	<b>26,433,680</b>	<b>26,890,531</b>	<b>27,448,362</b>
ア 第 1 号 基 本 金	24,389,498	25,482,766	25,867,310	26,324,161	26,881,992
イ 第 2 号 基 本 金	440,000	0	0	0	0
ウ 第 3 号 基 本 金	124,370	124,370	124,370	124,370	124,370
エ 第 4 号 基 本 金	442,000	442,000	442,000	442,000	442,000
<b>消 費 収 支 差 額 ( j )</b>	<b>△ 6,128,585</b>	<b>△ 6,871,457</b>	<b>△ 7,332,110</b>	<b>△ 7,640,634</b>	<b>△ 7,848,215</b>
翌年度繰越消費支出超過額	△ 6,128,585	△ 6,871,457	△ 7,332,110	△ 7,640,634	△ 7,848,215
<b>合 計 ( e ) + ( i ) + ( j )</b>	<b>24,757,952</b>	<b>24,976,849</b>	<b>24,653,972</b>	<b>24,285,614</b>	<b>24,170,227</b>
減価償却の累計額の合計額	7,494,046	8,102,027	8,610,560	9,236,247	9,616,889
<b>基 本 金 未 組 入 額 ( k )</b>	<b>3,197,220</b>	<b>3,372,107</b>	<b>2,944,022</b>	<b>2,508,160</b>	<b>2,072,843</b>

## (4)財務比率表の推移(平成16年度～平成20年度)

		区 分		私学事 業団評 価	平均値	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
分類	比率	算式(×100)								
貸 借 対 照 表	消費収支 差額構成 比率	消費収支差額	(j)	△	-4.9%	-24.8%	-27.5%	-29.7%	-31.5%	-32.5%
		総 資 金	(e)+(i)+(j)							
	基本金比 率	基 本 金	(i)	△	97.2%	88.8%	88.5%	90.0%	91.5%	93.0%
		基本金要繰入額	(i)+(k)							
	固定比率	固 定 資 産	(a)	▼	97.0%	115.2%	118.1%	116.2%	112.6%	110.3%
		自 己 資 金	(i)+(j)							
	固定長期 適合率	固 定 資 産	(a)	▼	89.9%	94.4%	96.2%	96.4%	95.0%	94.5%
		自己資金+固定負債	(i)+(j)+(f)							
	流動比率	流 動 資 産	(b)	△	277.8%	206.5%	162.0%	151.4%	177.6%	196.6%
		流 動 負 債	(g)							
	前受金保 有率	現 金 預 金	(c)	△	303.3%	437.4%	467.6%	464.1%	505.9%	472.4%
		前 受 金	(h)							
総負債比率	総 負 債	(e)	▼	12.3%	22.2%	23.2%	22.5%	20.7%	18.9%	
	総 資 金	(d)								
負債率	総負債-前受金	(e)-(h)	▼	8.7%	20.6%	21.5%	20.6%	18.9%	16.9%	
	総 資 産	(d)								
基本金実 質組入率	自 己 資 金	(i)+(j)	△	92.1%	67.4%	65.2%	65.0%	65.5%	66.4%	
	基本金要繰入額	(i)+(k)								
消 費 収 支 計 算 書	人件費比率	人 件 費	(ク)	▼	54.5%	68.6%	71.0%	70.2%	67.9%	64.2%
		帰 属 収 入	(オ)							
	人件費依 存率	人 件 費	(ク)	▼	76.4%	92.5%	95.9%	93.2%	90.2%	85.3%
		学生生徒等納付金	(ア)							
	教育研究 経費比率	教 育 研 究 経 費	(ケ)	△	27.2%	23.1%	23.5%	25.0%	23.4%	24.0%
		帰 属 収 入	(オ)							
	管理経費 比率	管 理 経 費	(コ)	▼	8.9%	4.0%	5.5%	4.9%	5.0%	5.1%
		帰 属 収 入	(オ)							
	消費支出 比率	消 費 支 出	(セ)	▼	93.9%	97.0%	101.6%	101.3%	97.5%	94.1%
		帰 属 収 入	(オ)							
	経常経費 依存率	消 費 支 出	(セ)	▼	131.6%	130.9%	137.2%	134.6%	129.6%	125.0%
		学生生徒等納付金	(ア)							
学生生徒 等納付金 比率	学生生徒等納付金	(ア)	～	71.3%	74.1%	74.0%	75.3%	75.2%	75.3%	
	帰 属 収 入	(オ)								
寄付金比率	寄 付 金	(イ)	△	3.2%	1.7%	1.3%	1.8%	1.9%	2.7%	
	帰 属 収 入	(オ)								
補助金比率	補 助 金	(ウ)	△	13.2%	20.0%	19.5%	18.3%	18.2%	18.0%	
	帰 属 収 入	(オ)								
基本金組 入率	基 本 金 組 入 額	(力)	△	14.7%	7.6%	12.3%	7.8%	7.8%	9.7%	
	帰 属 収 入	(オ)								

(注記)平均値は日本私立学校振興・共済事業団発行の「今日の私学財政」から、文他複数学部を設置する大学法人の平成19年度平均値を転載したものである。評価についても「今日の私学財政」から転載したものである。  
 評価：△ 高い値がよい ▼ 低い値がよい ～ どちらとも言えない  
 小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位までを記入。